

横浜市緑区民文化センター

平成 25 年度 事業計画書

指定管理者 みどりアートコミュニティ

代表団体 相鉄企業株式会社

横浜市緑区民文化センター

平成 25 年度 事業報告書

指定管理者 みどりアートコミュニティ

代表団体 相鉄企業株式会社

[横浜市緑区民文化センター]

平成25年度事業計画書

[みどりアートコミュニティ]

相鉄企業(株)・(株)相鉄エージェンシー・(株)清光社 共同事業体

施設の概要

施設名	横浜市緑区民文化センター
所在地	横浜市緑区長津田二丁目1番3号
構造・規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造地上28階、地下1階建一部4階建及び2階建のうち、一部2階建部分(地上2階、地下1階)を専有(区分所有)
敷地・延床面積	専有延床面積 2,999.51 m ²
開館日	平成25年10月5日

指定管理者

法人名	みどりアートコミュニティ 代表団体 相鉄企業株式会社
代表団体所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表団体代表者	代表取締役 稲本 信也
代表団体設立年月日	昭和36年11月1日
指定期間	平成25年10月5日から平成31年3月31日まで(5年6か月間)

[横浜市緑区民文化センター]

平成25年度事業報告書

[みどりアートコミュニティ]

相鉄企業(株)・(株)相鉄エージェンシー・(株)清光社 共同事業体

施設の概要

施設名	横浜市緑区民文化センター
所在地	横浜市緑区長津田二丁目1番3号
構造・規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造地上28階、地下1階建一部4階建及び2階建のうち、一部2階建部分(地上2階、地下1階)を専有(区分所有)
敷地・延床面積	専有延床面積 2,999.51 m ²
開館日	平成25年10月5日

指定管理者

法人名	みどりアートコミュニティ 代表団体 相鉄企業株式会社
代表団体所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表団体代表者	代表取締役 稲本 信也
代表団体設立年月日	昭和36年11月1日
指定期間	平成25年10月5日から平成31年3月31日まで(5年6か月間)

1 平成 25 年度の緑区民文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針
(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨(5か年の方針)

◆ 「はじめる・つながる・ひろがる」地域の歴史と文化を大切に
～アートで人と人をつなぐ。アートコミュニティ宣言～

緑区は、江戸時代には大山街道や八王子街道が通じていて、長津田宿など宿場町として発達した歴史と文化を持っています。

また横浜市の中でも緑被率が一番高く自然豊かで、非常に住環境がよく、横浜線4駅(鴨居・中山・十日市場・長津田)を中心に住宅地が広がっており、それぞれが特色豊かな地区を持つ区であります。

今の緑区に求められているものは、地域の更なる発展を相乗させる地域間交流です。「地域に根差した個性ある文化の創造」のために設置された緑区民文化センターの役割を踏まえ、「はじめる」「つながる」「ひろがる」の3つの基本方針を設定し、地域の歴史と文化を大切にしつつ、広く緑区民に愛される施設となるよう管理運営していきます。

● はじめる (地域の文化振興を担う人材を育成する拠点として)

- ・区民の文化活動、文化交流を積極的に支援し、緑区のアートの中心地として活動していきます。
- ・まだアートに触れたことのない子どもや、区内の学生の芸術活動の支援を行い、緑区の芸術活動の活性化に寄与します。

● つながる (地域の連携の拠点として)

- ・東日本大震災の後、公共文化施設の役割も変化を求められています。文化を通して、住民のコミュニティの醸成を果たす役割を担います。
- ・災害時の帰宅困難者対応など防災の一助を積極的に担い、地域の安全や安心を担う役割を果たします。

● ひろがる (地域の文化活動・情報発信の拠点として)

地域に多くある歴史的文化資産を活かしながら、次世代に緑区の文化を継承していく一端を担います。

(2) 施設管理運営の5か年の基本方針

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

● お客様の受け取り価値を重視します。

- ・区民に使っていただくための仕組みづくり、動機づくりを行っていきます。

● 地域のインキュベーター機能としてアーティストと区民との間に入り、地域文化をプロデュースします。

- ・鑑賞者の存在により表現者を育てることができます。地域の表現者を発掘育成していきます。
- ・表現する機会を求めている方々を積極的に掘り起し、参加機会の創出を提供します。

1 平成 25 年度の基本方針についての総括

(1) 基本的な方針の総括

● はじめる (地域の文化振興を担う人材を育成する拠点として)

- ・区民の文化活動、文化交流を積極的に支援し、緑区のアートの中心地として活動していきます。
- ・まだアートに触れたことのない子どもや、区内の学生の芸術活動の支援を行い、緑区の芸術活動の活性化に寄与します。

● つながる (地域の連携の拠点として)

- ・東日本大震災の後、公共文化施設の役割も変化を求められています。文化を通して、住民のコミュニティの醸成を果たす役割を担います。
- ・災害時の帰宅困難者対応など防災の一助を積極的に担い、地域の安全や安心を担う役割を果たします。

● ひろがる (地域の文化活動・情報発信の拠点として)

地域に多くある歴史的文化資産を活かしながら、次世代に緑区の文化を継承していく一端を担います。

『「はじめる・つながる・ひろがる」地域の歴史と文化を大切に』をテーマに掲げてスタートしました。10月5日の開館記念式典は緑区と共催で、区内の中学生による吹奏楽の演奏とコーラス、小学生によるお囃子、太鼓の演奏など、地元の若いひとたちの出演により開館を祝っていただきました。

本年はまず新しい施設を広く区民に知っていただくことを目的として、10月5日の開館前から、施設説明会、内覧会、避難訓練コンサート、また緑区の外エリアへのアウトリーチ公演を行い、新しい施設の「周知」を図ってきました。

開館月の10月はトライアル月間として区内の文化サークルを公募し割引料金で施設を利用していただきました。また「みんな de パフォーマンス」では区内文化サークルに出演を公募、新しい施設を体感して貰うようにしました。これらの出演団体から、継続して貸館利用されている団体が出てきました。

また、2月14日の大雪時に、区への要請を受け、JR長津田駅の帰宅困難者300名を受け入れました。この経験を今後活かし、地域の安全・安心を担う役割を今後とも担い、地域の連携の拠点としての価値を高めていきます。

(2) 事業の総括

本年度は「周知」をテーマとして、事業を組み立ててきました。

長津田での周知はかなり浸透してきましたが、他エリアではまだまだ知られていないのが現状です。各地の商店街に広報協力をお願いするなど努力はしていますが、次年度以降も引き続き、アウトリーチ公演や事業企画によって「周知」を図っていきます。

- 地域の歴史とともに発展してきたアートを掘り起し再発見します。
 - ・地域の芸能・文化（生活風習や歴史）、古典芸能へ触れる機会を創出します。
- 地域の歴史と文化を次世代や流入世代に継承します。
 - ・地域が築き上げてきた「地域文化」や「歴史」を、次世代及び流入世代に触れる機会を提供し、継承の一助を図ります。
- 社会的包括（ソーシャル・インクルージョン）機能をもたせます。
 - ・一過性ではなく、継続性を大切に、誰でもアートに触れられる機会を提供していきます。

「区民満足度5カ年プラン」の策定

平成26年度から平成30年度にかけて、区民からお預かりしている税金を無駄なく効果的に活用するため、施策展開の手法や事業執行プロセスのあり方などにも踏み込んで、次のような取り組みを推進し地域に最大限の貢献を行います。

25年度はその準備期間として位置付け、地元の文化団体、区内コミュニティハウスや地区センター等と協体制を築くための、周知期間とします。

年度と視点	概要
26 区民ニーズが第一	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ニーズを重要視し、区民との相互理解を深めながら自主事業の選別を行う。 ・事業の取捨選択の段階から積極的に区民参画を求め、区民第一の視点を徹底する。 ・地域文化人・文化団体との長期的・継続的な協力を築き、利用率の向上を図る。
27 地域協働の推進・事業仕分け	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が直接担う事業と、地域の団体を創設に寄与し引き継ぐ事業の仕分けを行い、区民文化センターで活動する団体を増やす。 ・支援事業の形態を推進し、地域の団体が主体的に取り組んでいただいている事業を支え、最もふさわしい事業のあり方について仕分けを徹底し、区民と力を合わせた形で効果的な事業展開を図る。 ・上記の行動指針によりを自主事業費用の適正化を図る。
28 業務プロセスの徹底した簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・集中的な事業実施により、同じ投資額でより大きな事業効果を上げるなど、指定管理料の有効活用の観点から業務プロセスの徹底した簡素化に取り組む。 ・2年目で達成したことを基準に利用料金の増加と自主事業費用の適正化を図る。
29 人材強化と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの強みを伸ばし、各々の職員の力を引き出すことに重点を置き、高度化・複雑化する区民ニーズに対応できる専門性の高い職員の育成と、総合力を有する職員の育成を図る。 ・協働型自主事業の展開の中で、共通の課題を持つ多くの区民とふれあうことにより、職員の資質向上を図る。 ・3年間の経験に基づいた本格的なマルチジョブ体制に移行し、人件費の圧縮を図る。
30 持続的・安定的サービスの供給	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入も安定的し、利用者との友好な関係が構築できる。 ・収入も安定し、適切な自主事業の内容と適正な費用で、施設の価値を最大限に発揮。 ・自主事業費の柔軟な運用を図りながら6年以降の目標を明確に定めて、より区民サービス向上の手法と継続的なサービス供給の視点を持つ。

(2) 施設管理運営の5か年の基本方針

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

- お客様の受け取り価値を重視します。
 - ・区民に使っていただくための仕組みづくり、動機づくりを行っていきます。
- 地域のインキュベーター機能としてアーティストと区民との間に入り、地域文化をプロデュースします。
 - ・鑑賞者の存在により表現者を育てることができます。地域の表現者を発掘育成していきます。
 - ・表現する機会を求めている方々を積極的に掘り起し、参加機会の創出を提供します。
- 地域の歴史とともに発展してきたアートを掘り起し再発見します。
 - ・地域の芸能・文化（生活風習や歴史）、古典芸能へ触れる機会を創出します。
- 地域の歴史と文化を次世代や流入世代に継承します。
 - ・地域が築き上げてきた「地域文化」や「歴史」を、次世代及び流入世代に触れる機会を提供し、継承の一助を図ります。
- 社会的包括（ソーシャル・インクルージョン）機能をもたせます。
 - ・一過性ではなく、継続性を大切に、誰でもアートに触れられる機会を提供していきます。

「区民満足度5カ年プラン」の策定

平成26年度から平成30年度にかけて、区民からお預かりしている税金を無駄なく効果的に活用するため、施策展開の手法や事業執行プロセスのあり方などにも踏み込んで、次のような取り組みを推進し地域に最大限の貢献を行います。

25年度はその準備期間として位置付け、地元の文化団体、区内コミュニティハウスや地区センター等と協体制を築くための、周知期間とし、関係作りを行いました。

年度と視点	概要
26 区民ニーズが第一	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ニーズを重要視し、区民との相互理解を深めながら自主事業の選別を行う。 ・事業の取捨選択の段階から積極的に区民参画を求め、区民第一の視点を徹底する。 ・地域文化人・文化団体との長期的・継続的な協力を築き、利用率の向上を図る。
27 地域協働の推進・事業仕分け	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が直接担う事業と、地域の団体を創設に寄与し引き継ぐ事業の仕分けを行い、区民文化センターで活動する団体を増やす。 ・支援事業の形態を推進し、地域の団体が主体的に取り組んでいただいている事業を支え、最もふさわしい事業のあり方について仕分けを徹底し、区民と力を合わせた形で効果的な事業展開を図る。 ・上記の行動指針によりを自主事業費用の適正化を図る。
28 業務プロセスの徹底した簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・集中的な事業実施により、同じ投資額でより大きな事業効果を上げるなど、指定管理料の有効活用の観点から業務プロセスの徹底した簡素化に取り組む。 ・2年目で達成したことを基準に利用料金の増加と自主事業費用の適正化を図る。

(3) 平成 25 年度の位置づけ

平成 25 年度のテーマは「周知」。できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただき、人と人を結びつける「緑区民文化センター」を実現するために、多くの区民の来館を促進します。そのために、区民文化センターを体感していただく事業を中心に実施します。また、ワークショップ型の事業を行い、地元の人材発掘・育成事業を開始します。

また、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアへのアウトリーチを行い、エリアを超えて緑区民文化センターを多くの人に知ってもらい、地域との関係を構築する年とします。

(4) 平成 25 年度の重点項目

①地域文化の拠点として区民に開かれ、誰もが気軽に利用できる施設運営

地域文化の拠点として区民に開かれ、区内の文化芸術団体、サークルをはじめ、広く区民に、区民文化センターは自分たちのための施設であるという評価を得ます。

②地域の文化振興を担う人材の育成

地域の文化振興を担う人材の育成、活用を図ります。

③地域住民、学校、商店街等との連携による地域の更なる活性化を目指します。

地域住民、学校、商店街等との連携を図るための第一歩として、信頼関係を醸成するよう努力します。更には、地域の更なる活性化に貢献できるようアートによる新たなコミュニティの創出を目指します。

(5) 数値目標等

項目	内容・数値目標	数値目標
①	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度の総利用者で周知度を測ります。 新しい施設を知っていただくために、開館前に施設見学会、内覧会を実施します。開館後は見学については施設の空いている限り随時ご案内します。 新しい施設を体感してもらうために 10 月をトライアル月間とし、文化団体にホールを割引料金でご案内します。 区内のサークルに新たな発表のステージを提供します。施設を体感していただくために、地元文化サークルに出演してもらってフェスティバル型公演を実施し、発表の機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 3万5千人 施設見学会16回、内覧会5回 参加目標500人 トライアル月間参加団体は15団体を目標 「みんな de パフォーマンス」 参加目標15団体。

29	人材強化と育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりの強みを伸ばし、各々の職員の力を引き出すことに重点を置き、高度化・複雑化する区民ニーズに対応できる専門性の高い職員の育成と、総合力を有する職員の育成を図る。 協働型自主事業の展開の中で、共通の課題を持つ多くの区民とふれあうことにより、職員の資質向上を図る。 3年間の経験に基づいた本格的なマルチジョブ体制に移行し、人件費の圧縮を図る。
30	持続的・安定的サービスの供給	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入も安定的し、利用者との友好な関係が構築できる。 収入も安定し、適切な自主事業の内容と適正な費用で、施設の価値を最大限に発揮。 自主事業費の柔軟な運用を図りながら6年以降の目標を明確に定めて、より区民サービス向上の手法と継続的なサービス供給の視点を持つ。

(3) 平成 25 年度の位置づけへの総括

平成 25 年度のテーマは「周知」。できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただき、人と人を結びつける「緑区民文化センター」を実現するために、多くの区民の来館の促進を図ることに重点をおいて事業展開を行いました。開館前には施設見学会を 18 回、内覧会を 3 回実施。また避難訓練コンサートを開催。開館の 10 月はトライアル月間として公募の団体に割引料金で提供。区内の文化サークルが出演する「みんな de パフォーマンス」には 34 団体が参加するなど、新しい区民文化センターを体感していただく事業を実施しました。

また、長津田エリアだけではなく、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアなど計 5 か所でアウトリーチを実施、エリアを超えて緑区民文化センターを多くの人に知っていただくきっかけづくりを図りました。

(4) 平成 25 年度の重点項目

①地域文化の拠点として区民に開かれ、誰もが気軽に利用できる施設運営

地域文化の拠点として区民に開かれ、区内の文化芸術団体、サークルへの認知を図るためにトライアル月間の実施、区内の文化サークルの出演による「みんな de パフォーマンス」を開催し、みどりアートパークへの利用の促進を図りました。また、ロビーコンサートなど気軽に楽しめるコンサートも開催しました。

②地域の文化振興を担う人材の育成

今年度は中高生を対象としたステージ体験ワークショップ「舞台をつくろう!」、一般の方対象の「バックステージ体験ツアー」を実施。高校生ギャラリーとして「白山高校美術コース卒業展」を共催で開催しました。

③地域住民、学校、商店街等との連携による地域の更なる活性化を目指します。

開館記念事業として「創造と森の声 森と共に-四人展」、区民企画イベント「みどりの街フォトコンサート」、「緑区民アート展」、「長津田ジャズまつり 2013」、「新進演奏家による音楽の贈りものスペシャルコンサート」を共催・後援・支援などによりバックアップしました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・開館記念事業として区民文化センターのオープンを祝い、これからのラインナップを知って頂く事業を行います。また、緑区関係団体による主催事業につきましても実施支援を行います。 ・ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワーク・キング・サービス）による情報発信、見やすさを重視した施設パンフレットの作成・配布、月1回発行の情報紙の発行など、施設の周知や区民に情報を提供し、利用機会の創出を図ります。 ・SNS では、Twitter、ブログ、Facebook を目的によって使い分け、多数の方に情報をお届けできるように図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月～12月の3か月内にて開館記念として10公演を目指します。 ・月1回の情報紙は部数2,000部を発行。区内公共施設36箇所に配布。 ・目標値として、Twitterのフォロー-300人
②	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。 ・オーディションによる登録認定アーティスト制度を整備します。登録アーティストにはロビーコンサートやキャラバン隊にご参加頂きます。 ・人材育成を目的としたワークショップやトークセッションを行い、次年度以降の区民参画イベントにつなげていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる高校1校と共催事業を行います。 ・26年度の募集に向けて、制度設計を行います。 ・「バックステージ体験ツアー」年1回実施 ・「理想の区民文化センターとは」を区民と考える連続講座年1回実施 ・ステージ体験ワークショップ「舞台をつくろう!」年4回実施 ・運営ボランティア、区文サポーターズ、文化情報ボランティアの制度設計 ・「ゴスペルワークショップ」年4回実施

<p>学校へは鴨居小学校、十日市場小学校へのアウトリーチを実施。 商店街とは広報面での協力を依頼しつつ、連携できること手がかかりづくりを始めました。</p>		
(5) 達成状況等		
項目	実施内容	達成状況
①	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の総利用者数。 ・新しい施設を知っていただくために、開館前に施設見学会、内覧会を実施。開館後は見学については施設の空いている限り随時ご案内で対応。 ・新しい施設を体感してもらうために10月をトライアル月間とし、文化団体にホールを割引料金で提供。 ・区内のサークルに新たな発表のステージを提供。施設を体感していただくために、地元文化サークルに出演してもらうフェスティバル型公演「みんな de パフォーマンス」を実施、発表の機会を提供。 ・開館記念事業として区民文化センターのオープンを祝い、これからのラインナップを知って頂く事業を実施。 また、緑区関係団体による主催事業につきましても実施支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5万829人 ・施設見学会18回467人、 ・内覧会3回170人 参加者計467人 ・10月～3月の見学者数259人 年間総合計726人 ・トライアル月間参加団体は13団体。 (2団体辞退) ・10月19日(土)、20日(日) 「みんな de パフォーマンス」 参加団体34団体(出演者合計491人)。 ・10月～12月の3か月間に、開館記念事業として10事業を実施。 ■開館記念事業 10月 ・「区民企画 みどりの街 フォト★コンサート」(共催) ・「神奈川フィル with 三橋貴風」(共催) ・「みどりアートパーク寄席」(主催) ・「みんな de パフォーマンス」(主催) ・「創造と森の声 森と共に～四人展」(支援) ・「みどり区民アート展」(支援) 11月 ・「長津田ジャズまつり2013」(支援) ・人形劇団ひとみ座「ゲゲゲの鬼太郎 決戦竜宮城」(主催) ・シリーズ歌のちから「ダ・カーポコンサート」(主催) 12月

③	<ul style="list-style-type: none"> 区内ですでに活動されている文化団体や区内諸施設、商店街等と信頼関係を醸成します。また商店街主催のイベントにも参加するなど、顔の見える関係づくりを始めます。 また、将来的には定期的に会合や交流会を行い、共にアートによるまちづくりの課題や区民のニーズを把握・共有しつつ、従来の活動の支援のほか、新しいアートイベントの企画と一緒に立ち上げます。 区内の各地区センターやケアプラザのご協力をいただき、みどりアートパークキャラバン隊公演を行います。長津田だけでなく、緑区全域を対象として、区民文化センターに足を運ばない方にも区民文化センターの周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会の定例会に出席。「施設見学会」「内覧会」「避難訓練コンサート」で近隣の方を招待します。 自治会が発行する会報にも記事を提供、招待券を募集することにより、認知度アップを目指します。 区内文化団体や区内施設と協働で自主事業を行います。(年2回) 年5回予定 参加目標250人
---	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)による情報発信、見やすさを重視した施設パンフレットの作成・配布、月1回発行の情報紙の発行など、施設の周知や区民に情報を提供し、利用機会の創出を図った。 SNSでは、Twitter、ブログ、Facebookを目的によって使い分け、多数の方に情報をお届けできるように図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新進演奏家による音楽の贈りものスペシャルコンサート」(支援) ロバの音楽座 みどりの森のクリスマス(主催) ■開館記念事業以外の事業 10月 トライアル月間 キャラバン隊公演 学校へのアウトリーチ 月1回の情報紙は部数2,000部を発行。区内公共施設40箇所に配布。 ホームページへのアクセス数は ユーザー数 14,360人 セッション数 24,013 ページビュー数 61,941回 3月までのTwitterのフォロワー数 308人
②	<ul style="list-style-type: none"> 区内の高校の美術コースと連携して、高校生のアート活動を支援。 オーディションによる登録認定アーティスト制度を整備します。登録アーティストにはロビーコンサートやキャラバン隊に参加頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県立白山高等学校美術コースの卒業展を共催。 26年度の募集に向けて、制度設計を行い、26年秋にオーディション実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を目的としたワークショップやトークセッションを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「バックステージ体験ツアー」 3月2日（日） ・「理想の区民文化センターとは」を区民と考えるトークセッション 3月21日（土） ・ステージ体験ワークショップ「舞台をつくろう!」 3月26日（水）～29日（土）4日間 ・運営ボランティア、区文サポーターズ、文化情報ボランティアの制度設計 ・「ゴスペルワークショップ」 1月17日、24日、2月7日、21日、発表会を3月2日
③	<ul style="list-style-type: none"> ・区内ですでに活動されている文化団体や区内諸施設、商店街等と信頼関係を醸成。また商店街主催のイベントにも参加するなど、顔の見える関係づくりを始めた。 ・区内の各地区センターやケアプラザのご協力をいただき、みどりアートパークキャラバン隊公演を実施。なかなか長津田に足を運ばない方にも区民文化センターの周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会の定例会に出席。「施設見学会」「内覧会」「避難訓練コンサート」で近隣の方を招待。 ・「長津田自治連合会会報」に記事を提供、招待券プレゼントを実施。 ・区内文化団体や区内施設と協働で自主事業を実施。 * 「佐々木洋の自然観察会」 2月15日（土） 長津田地区センターと共催 ・キャラバン隊公演 5回実施 中山地区センター、中山ケアプラザ、長津田地区センター、白山地区センター、十日市場地区センターにて実施。 参加総数：297人

2 平成 25 年度の文化事業の方針

(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

平成 25 年度のテーマは「周知」。できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただくために、区民文化センターを体感していただく事業を中心に実施します。また、ワークショップ型の事業を行い、地元の人材発掘・育成事業を開始します。

また、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアへのアウトリーチを行い、エリアを超えて緑区の区民文化センターを多くの人に知ってもらい、地域との関係を構築する年とします。

(2) 事業の方針

●交流

区民文化センターは文化の交流拠点として、地域の学校、施設、商店街、団体と連携し、多世代・多文化、歴史的な地域文化・新しい地域文化、文化活動団体の交流、あるいは異なるジャンルのアートの交流を図り、アートによる地域コミュニティの再生と創造に寄与します。

●育成

学校を始め区内の施設や団体と連携して、子どもたちや障がい者、高齢者の方、在住外国人の方など様々な方が芸術文化に触れる機会を提供し、鑑賞者の育成を図るとともに、付随して多様な体験型ワークショップを実施し、創造・表現活動者の育成に寄与します。

●文化事業 4 本の柱

「交流」と「育成」を軸に、「区民参加型交流事業」「地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業」「教育普及事業」「鑑賞・育成事業」という 4 本の柱を立てて、文化事業を進めていきます。

(3) 重点項目

① 区民参加型交流事業

- ・区民参加のワークショップ事業を行います。
- ・区内のサークルに新たな発表のステージを提供します。

② 地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業

- ・郷土の歴史文化にふれる講座を開催します。

③ 教育普及事業

- ・区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。
- ・区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。

2 平成 25 年度の文化事業の総括

(1) 全体の総括

平成 25 年度のテーマは「周知」。できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただき、人と人を結びつける「緑区民文化センター」を実現するために、多くの区民の来館の促進を図ることに重点をおいて事業展開を行いました。開館前には施設見学会を 18 回、内覧会を 3 回実施。また避難訓練コンサートを開催。開館の 10 月はトライアル月間として公募の団体に割引料金で提供。区内の文化サークルが出演する「みんな de パフォーマンス」には 34 団体が参加するなど、新しい区民文化センターを体感していただく事業を実施しました。

また、長津田エリアだけではなく、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアなど計 5 か所でアウトリーチを実施、エリアを超えて緑区民文化センターを多くの人に知っていただくきっかけづくりを図りました。

(2) 事業方針について

●交流

区民文化センターは文化の交流拠点を目指して、地域の学校、施設、商店街、団体と連携のための第一歩を踏み出した。今後、より交流を深めて、具体的な企画を立ち上げて行き、地域文化への貢献を図っていく予定。

●育成

今年度は、横浜市芸術文化教育プラットフォームの一貫として学校へのアウトリーチを実施。

ワークショップとしては、ゴスペルのワークショップ、中高生のための演劇ワークショップを行った。また、0歳から3歳児を対象とした「赤ちゃんのはじめての音楽会」、子ども向けのコンサート、人形劇を開催した。難聴の方も参加できる「身体で聴こう音楽会」。「ダ・カーポコンサート」では、区内のコーラスサークルの選抜チームに出演していただき、ダ・カーポと一緒に歌うなど、子どもたち、障がい者、高齢者の方など様々な方が芸術文化に触れる機会を提供するだけでなく、出演する機会も提供しました。

●文化事業 4 本の柱

「交流」と「育成」を軸に、「区民参加型交流事業」「地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業」「教育普及事業」「鑑賞・育成事業」という 4 本の柱を立てて、文化事業を進めました。

(3) 重点項目

① 区民参加型交流事業

- ・区民参加のワークショップ事業として、ゴスペルワークショップ、中高生のための演劇ワークショップを実施。
- ・区内のサークルに新たな発表のステージとして「みんな de パフォーマンス」、トライアル月間、「ダ・カーポコンサート」でのコーラスサークル選抜チームが共演。

④ 鑑賞・育成事業

- ・子どもから大人まで気軽に鑑賞できる機会を提供します。
- ・誰でも気軽に鑑賞できるようにチケット単価や曜日・時間帯に工夫して開催します。
- ・子ども向けの事業を行います。
- ・平日午後のコンサートを行います。
- ・ソーシャルインクルージョンを目的とした、聴覚障がいのある方も参加できるコンサートを行います。

(4) 数値目標等

項目	内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民参加のワークショップ事業を行います。新たなサークルの芽を育てます。発表会はホールステージで行います。 ・区内のサークルに新たな発表のステージを提供します。施設を体感していただくために、地元文化サークルに出演してもらふフェスティバル型公演を実施し、発表の機会を提供します。 ・開館初年度は区民の参加できる事業を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴスペル・ワークショップ」参加目標 60人 ・「みんな de パフォーマンス」参加目標 15団体。 ・「ダ・カーポコンサート」に区民コーラスが参加。参加目標 20人
②	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史文化にふれる講座を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「街道ものがたり～大山街道～」講演会を3回実施。参加目標 290人
③	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援します。高校生たちに作品創作だけではなく、他者にみせるための展示方法や、効果的な照明の当て方、チラシのデザインなどを考えつつ学んでもらうことを目的とします。 ・区内の小学校へのアウトリーチ活動を行います。鑑賞型・体験型と学校にヒアリングを行い、要望に合った事業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内高校1校。参加目標 20人 ・年2回実施 参加目標 180人

② 地域のコト・モノ・ヒトの発掘・支援・活用事業

- ・郷土の歴史文化にふれる講座として「街道ものがたり～大山街道～」を連続講座として実施。

③ 教育普及事業

- ・区内の高校の美術部等の部活動と連携して、高校生のアート活動を支援しました。
- ・区内の小学校へのアウトリーチ活動を行いました。

④ 鑑賞・育成事業

- ・子どもから大人まで気軽に鑑賞できる機会を提供するために、子ども向けのコンサートや、大人向けに寄席、コンサートを企画実施しました。
- ・誰でも気軽に鑑賞できるようにチケット単価にシルバー割引、障がい者割引、ファミリー向けには廉価な親子チケット、平日昼間のロビーコンサート、土曜日や日曜日にはマチナー、0歳からのコンサートは、土曜日の午前中など、曜日・時間帯に工夫して開催しました。
- ・ソーシャルインクルージョンを目的とした、聴覚障がいのある方も参加できるパイオニアの体感音響システム、要約筆記、手話通訳を入れた「身体で聴こうコンサート」を実施。

(4) 数値目標等達成状況

項目	実施内容	達成状況
①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民参加のワークショップ事業としてゴスペルのワークショップを実施。仕上げの発表会をホールで開催した。 ・区内のサークルに新たな発表のステージを提供するために出演団体を公募して、「みんな de パフォーマンス」と題したフェスティバル型公演を実施し、施設を体感していただくと同時に発表の機会を提供。 ・開館初年度として区民の参加できるコンサートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペル・ワークショップ 参加者 61人 発表会入場者数 164人 ・「みんな de パフォーマンス」参加団体 34団体。 ・「ダ・カーポコンサート」に区民コーラスが参加。参加者 30人
②	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史文化にふれる講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「街道ものがたり～大山街道～」講演会を3回実施。来場者数 167人

<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの事業を行います。 <p>平日午後のコンサートを実施します。 ホールの貸館のない空き日に、ホール・ホワイエにて、ロビーコンサートを実施します。 対象は近隣のリタイアされた高齢者、主婦層、小さいお子さんのいる主婦層に、気軽に施設に訪れて頂けるきっかけづくりを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソーシャルインクルージョン機能を持たせた事業を実施します。 25年度は途中失聴・難聴の聴覚障がいのある方も参加できるコンサートを実施します。 体感音響システムを利用、手話通訳、要約筆記も交えての童謡コンサート。小さなお子さんから、高齢者まで楽しめる曲目を選定。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け演劇 年1回 参加目標 280人 子ども向けコンサート 年1回 参加目標 250人 0歳児から3歳児むけのコンサート 年1回 参加目標 60人 「ロビーコンサート」 年2回 参加目標 各50人 「身体で聴こう音楽会「日本語と英語で歌う童謡コンサート」 年1回 参加目標 240人
--	--

<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の高校の美術部等の部活動と連携して、展覧会を実施。高校生たちに作品創作だけではなく、他者にみせるための展示方法や、効果的な照明の当て方、チラシのデザインも担当してもらい、期間中ライブペイントも実施。 区内の小学校へのアウトリーチを実施。今回は横浜市芸術文化教育プラットフォームの一貫として、区内の小学校2校へ鑑賞型・体験型のアウトリーチを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県立白山高校美術コース36人による卒業展を共催。 来場者数294人 鴨居小学校2年生 鑑賞型・お話しと歌 十日市場小学校6年生 等の演奏体験 参加者 196名
<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの事業を実施。 <p>平日午後のコンサートを実施。 ホールの貸館のない空き日に、ホール・ホワイエにて、ロビーコンサートを実施。 対象は近隣のリタイアされた高齢者、主婦層、小さいお子さんのいる主婦層。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソーシャルインクルージョン機能を持たせた事業を実施。25年度は途中失聴・難聴の聴覚障がいのある方も参加できるコンサートを実施。 体感音響システムを利用、手話通訳、要約筆記も交えての童謡コンサート。小さなお子さんから、高齢者まで楽しめる曲目を選定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け演劇 人形劇団ひとみ座「ゲゲゲの鬼太郎 決戦竜宮城」 来場者数 193人 子ども向けコンサート 「ロバの音楽座 みどりの森のクリスマス」 来場者数 284人 0歳児から3歳児むけのコンサート 「赤ちゃんのはじめての音楽会チリンとドロン」 来場者数 75人 「ロビーコンサート」 2月・3月実施 入場者計 148人 身体で聴こう音楽会「日本語と英語で歌う童謡コンサート」 入場者 222人

3 平成25年度の施設運営の方針
(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨
横浜市緑区民文化センターでは、緑区民文化センター設置目的と緑区運営方針を踏まえ以下のように基本運営方針を設置しています。

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

『お客様（納税者）受け取り価値が全てである。』が公立ホールの社会的使命を考える我々は、以下の通り平成25年度の施設運営重点項目を定めます。

(2) 重点項目・数値目標等

- ①区民にあって頂く貸館業務を重視し、仕組みや動機作りを行います。
- ②区民の自由な活動を応援できる体制を整えます。
- ③指定管理者の自己満足でなく「区民満足度5か年プラン」を策定し、適正に運用を行います。
- ④施設を使って頂くことにより緑区民へ新しい「生活価値」を提供します。

項目	取り組み内容	数値目標等
①	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションボード、コミュニケーションボードの設置 ・イベントスケジュールの作成 ・ホームページ・施設パンフレットの作成 ・ご意見箱の設置 ・利用者会議の開催 ・貸館利用者アンケートの作成 ・アンケート結果に対するPDCAサイクルの実行 ・サービス向上委員会の開催 ・情報コーナー資料の充実化 ・貸館利用者を対象としたポイントカード、自主事業鑑賞者を対象とした友の会の制度設計を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報物、掲示物を作成し、施設の周知、情報提供を行います。 ・イベントスケジュールを月に1回作成します。 ・半年に1回、アンケート月間を設け貸館利用者にアンケートを行い、その結果をもとに利用者会議を行い、運営に反映します。 ・利用者アンケート満足度85%を目指します。 ・月に2回、職員によるサービス向上委員会を開催します。 ・情報コーナーを整備し、区内、市内、県内、県外の文化情報を提供します。 ・ポイントカード、友の会の募集告知を開始します。

3 平成25年度の施設運営の総括
(重点的に取り組む事項や数値目標等の実施状況・達成状況)

(1) 趣旨
横浜市緑区民文化センターでは、緑区民文化センター設置目的と緑区運営方針を踏まえ以下のように基本運営方針を設置しています。

「第5世代」の区民文化センターを目指します。

『お客様（納税者）受け取り価値が全てである。』が公立ホールの社会的使命を考える我々は、以下の通り平成25年度の施設運営重点項目を定めます。

(2) 重点項目・数値目標等

- ①区民にあって頂く貸館業務を重視し、仕組みや動機作りを行います。
- ②区民の自由な活動を応援できる体制を整えます。
- ③指定管理者の自己満足でなく「区民満足度5か年プラン」を策定し、適正に運用を行います。
- ④施設を使って頂くことにより緑区民へ新しい「生活価値」を提供します。

項目	実施内容	達成状況
①	<ul style="list-style-type: none"> ・交流ロビーにインフォメーションボード、コミュニケーションボードの設置 ・イベントスケジュールを作成 ・ホームページ・施設パンフレットに作成 ・ご意見箱を地下1階、1階、HPに設置 ・利用者会議を3月19日に実施 ・貸館利用者アンケートの作成し、2月をアンケート月間として、施設利用者配布した。 ・アンケート結果に対するPDCAサイクルの実行 ・サービス向上委員会の開催 ・情報コーナー資料の充実化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種広報物、掲示物を作成し、施設の周知、情報提供を実施しました。 ・イベントスケジュール「まっぴMAP」を月に1回作成し、配布。 ・半年に1回、アンケート月間を設け貸館利用者にアンケートを行い、その結果をもとに利用者会議を行い、運営に反映しました。 ・利用者アンケート『施設の全体的な満足度』の項目において、「大変よかった」42%、「よかった」49%、「よくなかった」2%となり、「大変よかった」「よかった」が合計91%を示した。 ・月に2回、職員によるサービス向上委員会を開催しました。お客様の声の共有とより良いサービスを目指しての意見交換を行った。 ・情報コーナーチラシラックを設置し、区内、市内、県内、県外の文化情報を提供。

②	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用・文化活動相談窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 施設窓口だけでなく電話・FAX・メールなど相談体制を整えます。
③	<ul style="list-style-type: none"> 区内施設や地域の自治会と交流し、情報交換を行います。 平成26年度から始まる「区民満足度5か年プラン」の準備期間として、区内文化芸術団体、文化サークル、アーティストの現状把握を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区連合自治会定例会に参加します。 長津田商店街協同組合、中山商店街協同組合、谷津田原商栄会、鴨居商栄会、竹山団地中央商店会、緑新栄会、十日市場大通り商店会、霧が丘商店会など緑区内商店街と顔つなぎを行います。 月に1回区内施設と情報交換を行います。 自治会連合会の会報に広告を掲載します。 区内の文化団体の利用促進のために、開館記念割引を行います。 区内文化団体を公募し、参加型パフォーマンスイベントを行います。 区内文化団体と協働した自主事業を行います 自主事業アンケートにより区民のニーズの把握に努めます。
④	<ul style="list-style-type: none"> 区内初の文化専門施設として、施設価値の向上を行います。 開館前にどなたでも気軽に来場頂ける見学会や内覧会を行います。開館後も随時見学受付を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間来場者数3万5千人を目指します。 開館前に月に2回施設見学を開催しました。

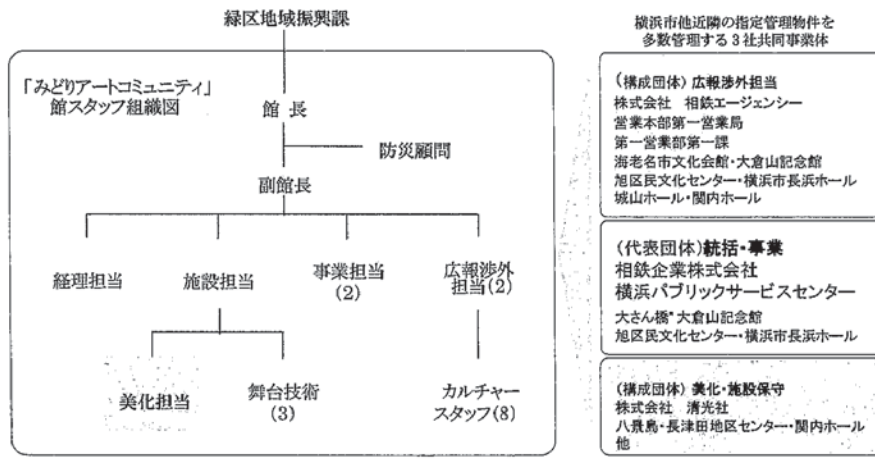
	<ul style="list-style-type: none"> 貸館利用者を対象としたポイントカード、自主事業鑑賞者を対象とした友の会の制度設計を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカードの募集告知を開始しました。 友の会の制度設計を行いました。
②	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用・文化活動相談窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 施設窓口だけでなく電話・FAX・メールなどで相談体制を整えました。
③	<ul style="list-style-type: none"> 区内施設や地域の自治会と交流し、情報交換を行いました。 平成26年度から始まる「区民満足度5か年プラン」の準備期間として、区内文化芸術団体、文化サークル、アーティストの現状把握を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に地区連合自治会定例会に参加。 長津田商店街協同組合、中山商店街協同組合、谷津田原商栄会、鴨居商栄会、竹山団地中央商店会、緑新栄会、十日市場大通り商店会、霧が丘商店会など緑区内商店街に広報協力の依頼と、自主事業のチケットを配布し、緑区民文化センターを周知しました。 月に1回、イベントスケジュールの設置依頼と共に緑区内地区センター、緑区役所、緑公会堂、緑図書館、みどりーむ、いっぽ等と情報交換を行いました。 自治会連合会の会報に自主事業広告を2回掲載しました。 区内の文化団体の利用促進のために、開館記念割引（3割引）を行いました。 区内文化団体を公募し、参加型パフォーマンスイベント「みんな de パフォーマンス」を10月19、20日に行い、計34団体が参加しました。 区内コーラスグループと協働した自主事業として「ダ・カーポコンサート」を11月23日に実施しました。 自主事業アンケートにより区民のニーズの把握に努めました。
④	<ul style="list-style-type: none"> 区内初の文化専門施設として、施設価値の向上を目的として事業展開を図りました。 開館前にどなたでも気軽に来場頂ける見学会や内覧会を実施。開館後も可能な限り随時見学を受け付けました。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間来場者目標数3万5千人を達成しました。 来場者数5万829人 開館前に月に2回施設見学を開催しました。総参加者799人。

4 平成 25 年度の施設管理の方針
(重点的に取り組む事項や数値目標等)

(1) 趣旨

横浜市緑区民文化センターは横浜市他近隣の指定管理物件を多数管理する3社共同事業体である『みどりアートコミュニティ』による管理を行っております。高度な専門技術を有するスタッフで、利用者をサポートいたします。

また来年度より開始する「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の準備として、施設の瑕疵期間中のため、不具合箇所、水光熱費等のデータ集積を行います。



(2) 重点項目 (取組内容を箇条書きに項目立てし、要点を捉え、分かりやすく記載してください。)

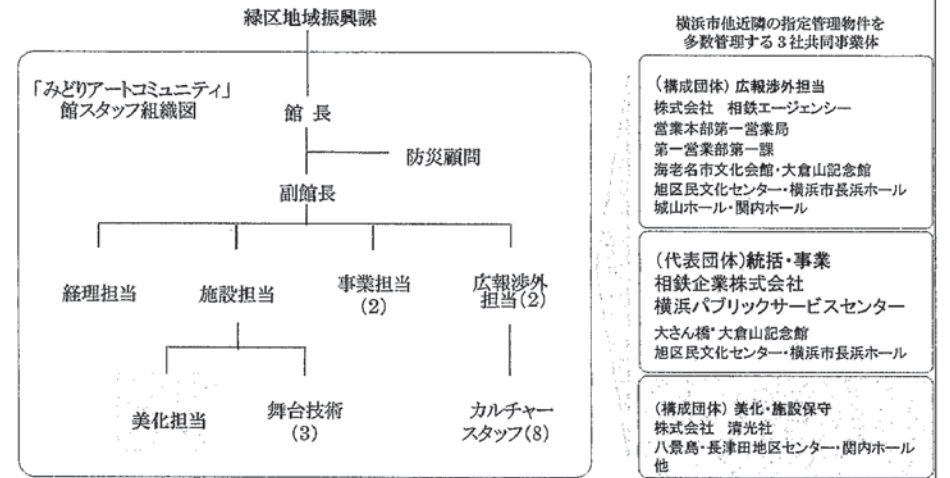
項目	取り組み内容	数値目標等
安全で効率的な維持管理・予防保全について	<ul style="list-style-type: none"> 施設の基礎情報の把握 不具合箇所の早期発見、補修 日常点検、定期点検の実施 維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理計画に基づき定期的な施設点検を実施 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検の実施(年1回)
快適な環境の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> 美観の維持 感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書内の清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。 年に1回8時間の清掃法定研修を行います。 感染症対策備品一式を整備します。 感染症対策講習を全職員が受講します

4 平成 25 年度の施設管理の総括
(重点的に取り組む事項や数値目標等の実施状況と達成状況)

(1) 趣旨

横浜市緑区民文化センターは横浜市他近隣の指定管理物件を多数管理する3社共同事業体である『みどりアートコミュニティ』による管理を行っております。高度な専門技術を有するスタッフで、利用者をサポートしました。

また来年度より開始する「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」の準備として、施設の瑕疵期間中のため、不具合箇所、水光熱費等のデータ集積を行いました。



(2) 重点項目

項目	実施内容	達成状況
安全で効率的な維持管理・予防保全について	<ul style="list-style-type: none"> 施設の基礎情報の把握 不具合箇所の早期発見、補修 日常点検、定期点検の実施 維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理計画に基づき定期的な施設点検を実施しました。 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検の実施(年1回)
快適な環境の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> 美観の維持 感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書内の清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施しました。 年に1回8時間の清掃法定研修を実施。 感染症対策備品一式を整備完了。 感染症対策講習を全職員が2月に受講。

5 平成 25 年度の文化事業に関する計画について

(1) 趣旨
 平成 25 年度のテーマは「周知」。
 開館記念事業に引き続き、出来るだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただくために、区民文化センターを体感していただける事業を中心に実施します。
 また、ワークショップ型事業を行い、地元の人材発掘・育成を開始します。
 区内の各地区センターに協力していただき、長津田エリア、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアへのアウトリーチ公演はじめ、小学校への出前公演や体験型事業も行います。

(2) 具体的取組内容

目的	事業名	内容	実施時期	実施回数	想定人数
多様な機会 の提供	開館記念事業 「神奈フィル with 三橋貴風」	地域に根差した神奈川フィルと邦楽のジャンルを超えたクラシックコンサート	10月	1回	250人
	開館記念事業 人形劇団ひとみ座公演 「ゲゲゲの鬼太郎 決戦! 竜宮島」	親子向け文楽使いの人形劇	11月	1回	280人
	施設見学会及び内覧会	緑区民文化センターを広く知っていただくための施設説明会	4月～	21回	各25人
	みどりアートパークキャラバン隊	区内施設、老人介護施設などで区民文化センターを知ってもらうためのキャラバン隊。ミニコンサートなど	9月～ 10月	5回	各50人
	小学校へのアウトリーチ	区内の小学校で音楽（邦楽や洋楽）のコンサートあるいは体験型ワークショップを行う	11月～ 12月	2回	各90人
	開館記念事業 シリーズ「歌のちから」ダ・カーポ コンサート	区民参加型事業。コーラスグループとアーティストのポップスコンサート	11月	1回	240人
	開館記念事業 みどりアートパーク寄席	日本の伝統話芸を楽しむ落語公演	10月 3月	2回	各 250人
	開館記念事業 ロバの音楽座 みどりの森のクリスマス	西洋古楽器の素朴さとぬくもりを楽しむ親子向けコンサート	12月	1回	250人

5 平成 25 年度の文化事業に関する総括

(1) 趣旨
 平成 25 年度のテーマは「周知」。できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただき、人と人をつ結びつける「緑区民文化センター」を実現するために、多くの区民の来館の促進を図った。開館前には施設見学会を 18 回、内覧会を 3 回実施。また避難訓練コンサートを開催。開館の 10 月はトライアル月間として公募の団体に割引料金で提供。区内の文化サークルが出演する「みんな de パフォーマンス」には 34 団体の参加するなど、新しい区民文化センターを体感していただく事業を実施した。
 また、長津田エリアだけではなく、鴨居エリア、中山エリア、十日市場エリアなど計 5 か所でアウトリーチを実施、エリアを超えて緑区民文化センターを多くの人に知っていただくきっかけとした。

(2) 具体的取組内容

目的	実施時期	主催 共催	事業名	内容	入場料	入場者数 (見込者)
多様な機会 の提供	10/11 (金)	主催	開館記念事業 「神奈フィルwith三橋貴風」	地域に根差した音楽文化の創造を目指している神奈川フィル、さらに日本を代表する尺八の演奏家である三橋貴風氏をゲストに迎え、ジャンルを超えた「音楽の楽しみ」を提供する。	一般3,000 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,500	109人 (250人)
	11/9(土)	主催	開館記念事業 人形劇団ひとみ座 「ゲゲゲの鬼太郎 決戦! 竜宮島」	人形劇団ひとみ座による子ども向け人形劇。『ゲゲゲの鬼太郎』は世代を超えて親しまれている作品であり、文楽方式の人形が生き生きと動く様子に子どもだけでなく大人も一緒になって楽しんでいただけた。	一般1,500 高校生以下500 親子1,800	193人 (280人)
	4/21,25,28 5/25,26 6/29,30 7/28,29 8/9 9/7,8	主催	施設見学会及び内覧会	緑区民文化センターを広く知っていただくための施設説明会及び内覧会。トライアル利用者向け、一般利用者向け、VIP向けと対象者別に実施。	無料	799人 (525人)
	9/23 (祝) 9/26 (木) 9/27 (金) 10/13 (日)	主催	みどりアートパークキャラバン隊	区民文化センターの開館を知ってもらうためのキャラバン隊。今年度は中山地区センター、中山ヶアプラザ、長津田地区センター、白山地区センター、十日市場地区センターにてオカリナやフルートミニコンサートを実施。	無料	297人 (250人)
	11/20 (金) 12/10 (火) 12/11 (水)	主催	小学校へのアウトリーチ	区内の小学校で音楽（邦楽や洋楽）のコンサートや体験型ワークショップを実施。今年度はおはなしコンサートと琴体験。	無料	196人 (179人)
	11/23 (日)	主催	開館記念事業 シリーズ「歌のちから」 ダ・カーポ コンサート	いつかどこかで聞いたことがあるメロディーを中心とした暖かく爽やかなポップスコンサート。区民参加型事業。緑区コーラス会からバックコーラス（30人）として参加し、アーティストのポップスコンサートを実施。	一般3,000 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,500	273人 (240人)
	① 10/12 (土)	主催	みどりアートパーク寄席	日本の伝統話芸を楽しむ落語公演。第一回は落語協会・落語芸術協会をそれぞれ代表する実力派による開館記念公演を実施した。第二回は「花見」をテーマに春を感じる演目を実施した。	① 一般2,000 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,000 ② 一般2,500 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,500	①146人 (250人) ②180人 (250人)
	② 3/19 (水)	主催	みどりアートパーク寄席	日本の伝統話芸を楽しむ落語公演。第一回は落語協会・落語芸術協会をそれぞれ代表する実力派による開館記念公演を実施した。第二回は「花見」をテーマに春を感じる演目を実施した。	① 一般2,000 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,000 ② 一般2,500 高校生以下1,000 70歳以上・障がい者1,500	①146人 (250人) ②180人 (250人)

	森日出男写真展	横浜の風景写真展を行いギャラリーの使い方を提示	1月	1回	1000人
	おしゃべりジャズ倶楽部	ジャズ初心者向けの解説付きコンサート	2月	1回	240人
	身体で聴こう音楽会「日本語と英語で歌う童謡コンサート」	聴覚障がい者の楽しめる体感音響システムを使用したコンサート	2月	1回	240人
	赤ちゃんのはじめての音楽会「チリンとドロン」 (おはなしコンサート)	0～3歳児向けの読み聞かせとコンサート	3月	1回	60人
2	緑区の小学生からの提案「緑区環境絵日記展」	緑区の小学生が描いた環境をテーマにした絵日記展示	2月	1回	800人
人材育成	高校生ギャラリー「白山高校美術コース卒業展」 ※共催事業	白山高校美術部による卒業作品展示会	3月	1回	400人
活用	バックステージ体験ツアー	自主事業公演後に行い、照明など舞台機構を体験しながら区民文化センターの特徴を理解していただくツアー	3月	1回	25人
取組	「理想の区民文化センターとは」を区民と考える連続講座	みどりアートパーク所縁の方を招いて、また他の区の区民文化センター館長などを招いてのトークセッション	3月	1回	20人
	ステージ体験ワークショップ「舞台をつくろう!」(仮題)	中学生を対象としたステージ体験のワークショップ	3月	4回	各30人
3	避難訓練コンサート	ホール公演中の防災訓練とコンサートを同時に体験する	9月	1回	150人
地域活動の支援	トライアル月間	新しい施設を体感してもらうために10月をトライアル月間とし、文化団体にホールを割引料金でご案内します。	10月	1回	15団体
等に	開館記念事業 みんな de パフォーマンス (オープンテ)	施設を体感していただくために、地域の文化サークルに出演をしてもらうフェスティバル型の公演	10月	2日	400人

目的	実施時期	主催共催	事業名	内容	入場料	入場者数(見込者)
1・多様な機会 の提供	1/12(日)～26(日)	主催	森日出夫写真展	横浜を代表する写真家森日出夫氏の風景写真展。期間中森氏と館長によるギャラリートークも実施。	無料	624人 (1000人)
	2/14(金)	主催	おしゃべりジャズ倶楽部	軽快なおしゃべりと、スタンダードナンバーを中心に初心者でも楽しめるジャズライブ。	一般2,000 高校生以下500 70歳以上・障がい者1,000	62人 (240人)
	2/16(日)	主催	身体で聴こう音楽会「日本語と英語で歌う童謡コンサート」	聴覚障がい者の楽しめるバイオリンの体感音響システムを使用したコンサート。今年度は属意だったため、子どもからご年配の方まで幅広い世代に楽しめる内容であった。	無料	222人 (240人)
	3/8(土)	主催	赤ちゃんのはじめての音楽会「チリンとドロン」 (おはなしコンサート)	0～3歳児向けの読み聞かせとコンサート。コントラバスと歌の0～3歳児向けのコンサート。	子ども100 大人500	75人 (60人)
2・人材育成・活用に関する取組	2/4(火)～2/16(日)	主催	緑区の小学生からの提案「緑区環境絵日記展」	緑区の小学生が描いた環境をテーマにした絵日記展示。長津田地区センターによる自然のパネル展示もあり。	無料	195人 (800人)
	3/11(水)～17(月)	共催	高校生ギャラリー「白山高校美術コース卒業展」	白山高校美術コース3年生による卒業作品展示会。生徒たちが設営、展示、受付、撤収までを行う。	無料	294人 (400人)
	3/2(日)	主催	バックステージ体験ツアー	ゴスペルコンサート終了後に実施。照明など舞台機構を体験しながら区民文化センターの特徴を理解していただくツアー	無料	12人 (25人)
	3/21(土)	主催	「理想の区民文化センターとは」を区民と考える連続講座	アートマネジメントを専門とする文化人を招いて館長とのトークセッション	無料	2人 (20人)
	3/26(水)～29(土)	主催	ステージ体験ワークショップ「舞台をつくろう!」	中学生を対象としたステージ体験のワークショップ	500円	22人 (120人)
3・地域活動の支援等に関する取組	9/21(土)	主催	避難訓練コンサート	横浜市消防音楽隊によるホール公演中の防災訓練とコンサートを同時に体験する	無料	162人 (150人)
	10月	主催	トライアル月間	新しい施設を体感してもらうために10月をトライアル月間とし、文化団体にホール・ギャラリーを割引料金でご案内した。		14団体 (15団体)
	10/19(土)20(日)	主催	開館記念事業 みんな de パフォーマンス (オープンテ)	みどりアートパークの認知拡大を図るとともに、主に緑区で活動している団体にステージに上がる機会を提供するため、反響板、ソテ降それぞれの仕様で思い思いのパフォーマンスを披露していただくイベントを実施した。	参加料1団体あたり 高校生以下のみ500 大人・混合2,000	<出演> 34団体491人 <入場者>1,109人 (400人)
	10/5(土)～10/14(月)	支援	開館記念事業 「創造と森の声 森と共に—四人展」	GROUP創造と森の声が毎年実施している横浜の森美術館に参加している4人の作家による作品展示、参加型の作品展示、創造と森の声のドキュメント展示を実施した。	無料	400人
	10/6(日)	共催	開館記念事業 「区民企画イベント「みどりの街 フォト★コンサート」	サウンドオブミュージックの名曲をプロ歌手と公募による青少年の歌声でつづりながら、緑区の家族や風景の写真を投影して、緑区の魅力を届けるコンサートを開催した。	一般1,200 高校生以下700 親子1,500 (当日各300円増)	286人
	10/30(水)～11/4(月)	支援	開館記念事業 みどり区民アート展	緑区在住、在勤、在学または区内活動サークル参加者を対象とした絵画(油彩、水彩、アクリル、日本画、ちぎり絵など)の公募展を実施した。また、オープニング記念としてパドカービング展を同時に実施した。	出展料500円 *鑑賞無料	<出展者数> 94人 <鑑賞者数> 560人
	11/3(日)	支援	開館記念事業 長津田ジャズまつり2013	一流のプロと地元の社会人バンドが出演するジャズコンサートを開催した。地域のみなさんにも楽しんでもらうために低廉な入場料で実施している。	1,000円	320人

する 取 組	開館記念事業 「創造と森の声 森と共に一四人 展」	緑区関係団体企画事業の実 施支援	10月	1回		
	開館記念事業 「区民企画イベント「みどりの街 フォト★コンサート」 ※共催事業	緑区関係団体企画事業の実 施支援	10月	1回		
	開館記念事業 みどり区民アート展	緑区関係団体企画事業の実 施支援	10月	1回		
	開館記念事業 長津田ジャズまつり2013	緑区関係団体企画事業の実 施支援	11月	1回		
	開館記念事業 新進演奏家による音楽の贈りもの スペシャルコンサート	緑区関係団体企画事業の実 施支援	12月	1回		
	佐々木洋の自然観測会 ※共催事業	プロナチュラリストを講師 に迎え、森の生きものの世界 を子どもから大人まで楽し い解説を行う	2月	1回	60人	
	4 ア ー ト に よ る ま ち づ く り	シリーズ「緑区の歴史と文化を探 る」 「街道ものがたり～大山街道」 連続講演	郷土の歴史や文化を知ること により、地域への理解と愛着 を醸成します。第1回は「大 山街道を知ろう」 落語「大山 参り」 実演と講演「大山街道 と大山参り」。第2回と第3回 は講演。	12月 2月 3月	3回	200人 30人 60人 計 290人
そ の 他	みどりアートパーク・ゴスペルワー クショップ	区民参加型合唱コンサート(=み どりの歌声コンサート)実現のた めのワークショップ	1月～	4回	各60人 公演 180人	
	ロビーコンサート	ホールの利用がない平日に、 ロビーにて無料コンサート	2月～ 3月	2回	各50人	
	長津田十景写真展公募準備	歴史ある長津田をかつて撮影 した写真公募準備	1～3月			
	事業共催	共催、後援等	10月～			
	広報宣伝活動	イベントスケジュールの作 成等	10月～	月 1 回		

目的	実施 時期	主催 共催	事業名	内容	入場料	入場者数 (見込者)
4	11/3(日)	支援	開館記念事業 長津田ジャズまつり20 13	一流のプロと地元の社会人バンドが出演 するジャズコンサートを開催した。地域 の人とあなたにも楽しんでもらうために低 廉な入場料で実施している。	1,000円	320人
	12/8(日)	支援	開館記念事業 新進演奏家による音楽の 贈りものスペシャルコン サート	緑区民音楽祭実行委員会が活動支援をし ている若手音楽家の協力を得て、曲の選 択などを工夫した企画によりクラシック を気軽に楽しめるコンサートを実施し た。	1,500円	310人
	2/15(土)	共催	佐々木洋の自然観測会	佐々木洋氏を講師として、緑豊かな横浜 市緑区で、私たちの身近にいる「いきも の(動物・植物)」を観察する。	100円	22人 (60人)
4 ア ー ト に よ る ま ち づ く り	12/1(土)	主催	シリーズ「緑区の歴史と 文化を探る」 「街道ものがたり～大山 街道」連続講演	郷土の歴史や文化を知ることにより、地域へ の理解と愛着を醸成します。第1回は「大山 街道を知ろう」 落語「大山参り」 実演と講演 「大山街道と大山参り」。第2回と第3回は 講演。	一般1,000 高校生以下500 70歳以上・障がい 者700	①94人 (200人)
	2/1(土)				500円	②44人 (30人)
	3/1(土)				500円	③29人 (60人)
	1/14(金)～	主催	みどりアートパーク・ゴ スペルワークショップ	区民参加型合唱コンサート(=みどりの歌声 コンサート)実現のための■■■■氏、■■■■ 氏によるゴスペルワークショップ。4回の レッスンを終えてホールでの発表会を開催。	4,000円	<参加者> 61人 (60人) <観覧者数> 164人 (180人)
	①2/21(金) ②3/24(金)	主催	ロビーコンサート	ホールの利用がない平日に、ロビーにて誰 でも楽しめる無料のコンサートを実施。	無料	①54人 ②94人 (各50人)
1～3月		長津田十景写真展公募準備	歴史ある長津田をかつて撮影した写真公募準備			
10月～		事業共催	共催、後援等			共催3件
10月～		広報宣伝活動	イベントスケジュールの作成等			月1回
4月		販促促進活動	チラシ、ポスターの作成			随時
4月		ホームページ製作	インターネット広報			随時
4月		パンフレット製作	施設紹介			

販売促進活動	チラシ、ポスターの作成	4月		
ホームページ製作	インターネット広報	4月		
パンフレット製作	施設紹介	4月		

6 平成 25 年度の施設運営に関する計画について

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

(1) 趣旨

- ・中核となる区民文化センター運営組織は、文化施設運営の専門能力を持つ職員と区民から登用したカルチャースタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「区民・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。
- ・各担当職員は、文化事業の企画実施・施設運営・施設管理・舞台技術等幅広い知識と経験・実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。
- ・地域の文化団体・市民団体・商店街・地元企業・学校・各関係機関等と情報交換等の協力ならびに共創関係を築き、信頼関係を深め地域との連携体制を確立します。

(2) 具体的取組内容(実施事項)

①稼働率等貸し館の目標

- ・ホール目標稼働率80パーセント(日にち単位)を目指します。
- ・初年度(平成25年10月～平成26年3月)の総利用者数は3万5千人を目指します。
- ・空き状況をリアルタイムで掲示を行い、準備割引や直前割引を導入します。

②開館時間

- ・開館時間は朝9時～夜2時までといたします。

③休館日

- ・開館日数 357日
- ・休館日 8日(年末年始 12月29日～1月3日、年2回夏冬施設点検日)

④人員配置

カルチャースタッフのリーダーとして社員を1人配置し、スムーズな貸館利用を促進します。

- ・運営スタッフ(館長 1人、副館長 1人、防災顧問 1人、職員 6人)
- ・舞台技術(職員 3人)
- ・受付スタッフ(地元雇用の8人)
- ・美化担当(3人)

⑤勤務体制

- ・「早番」「遅番」の2交代制と、「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

↓一日のシフト例

6 平成 25 年度の施設運営に関する総括

(稼働率等貸し館の目標、開館時間、休館日、人員配置、勤務体制、研修計画、広報計画等)

(1) 趣旨

- ・中核となる区民文化センター運営組織は、文化施設運営の専門能力を持つ職員と区民から登用したカルチャースタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「区民・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたりました。
- ・各担当職員は、文化事業の企画実施・施設運営・施設管理・舞台技術等幅広い知識と経験・実績を持つ人材を配置し、引き続き施設の基盤づくりに尽力します。
- ・地域の区民による文化団体に自主事業の出演を依頼しました。また区内高校と共催事業を実施しました。各自治会や商店街に、自主事業チラシの設置を依頼し、自主事業のチケットを提供し、招待者を募集することにより、施設の認知度アップをはかりました。引き続き各団体と創関係を築き、信頼関係を深め地域との連携体制を確立します。

(2) 具体的取組内容

①稼働率等貸し館の目標

- ・平成25年度のホール目標稼働率71.9パーセント(日にち単位)でした。
- ・初年度(平成25年10月～平成26年3月)の総利用者数は5万829人でした。
- ・ホール・ギャラリーの空き状況をHP上で週1回直前の空き状況を掲示しています。また準備割引や直前割引の各種割引を導入し、利用者サービスの向上とリピーター確保に務めました。

②開館時間

- ・開館時間は朝9時～夜22時。

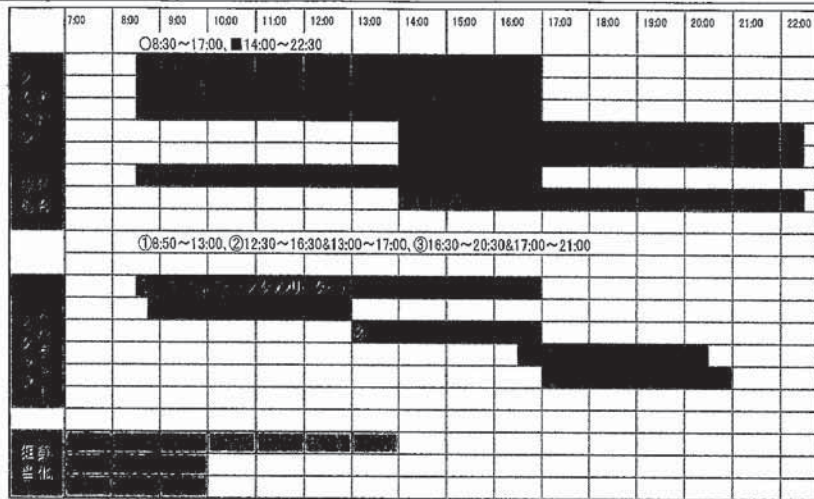
③休館日

- ・開館日数 171日(10月5日～)
- ・休館日 7日(年末年始 12月29日～1月3日、2月25日)

④人員配置

下記配置により円滑かつ効率的に運営を行いました。またカルチャースタッフのリーダーとして社員を1人配置し、スムーズな貸館利用を促進しました。

- ・運営スタッフ(館長 1人、副館長 1人、防災顧問 1人、職員 6人)
- ・舞台技術(職員 3人)
- ・受付スタッフ(地元雇用の8人)
- ・美化担当(3人)



⑥研修計画

区民文化センターの運営には、「高いスタッフ力」が求められます。教育については、OJT、OffJT、そして自己啓発による3つの形態があり、これを有効に組み合わせ、スタッフ力の向上を図ります。

種類	研修名	実施時期
OJT (内部研修)	個人情報研修	4月
	防災教育	9月
	感染症対策講習会	下期
OffJT (外部研修)	救急救命講習	6月・9月
	マナー研修	9月
	人権研修	9月
	サービス介助士	下期
	財務研修	年2回
	アートマネジメント研修	下期
	清掃法定研修	年8時間
自己啓発		随時

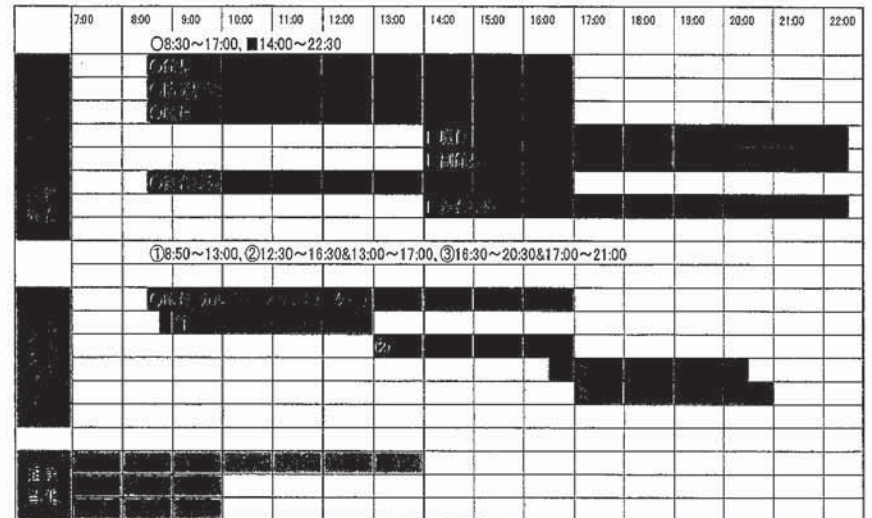
⑦広報計画

本年度は新しくできた区民文化センターの「周知」を目的に、できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただく広報を行います。事業対象となる顧客層を把握し、一番適切な手段で広報活動を行います。

⑤勤務体制

・運営スタッフ、舞台技術の「早番」「遅番」の2交代制と、カルチャースタッフの「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせることにより、全体を通して問題なく一定のサービス水準を確保しました。

↓一日のシフト例



⑥研修

区民文化センターの運営には、「高いスタッフ力」が求められます。教育については、OJT、OffJT、そして自己啓発による3つの形態があり、これを有効に組み合わせ、スタッフ力の向上を図りました。

種類	研修名	実施時期
OJT (内部研修)	個人情報研修	5/17~27、9/10、12/21~24
	防災教育	9/21
	感染症対策講習会	2/10~18
	CSR研修	12/20~23
	予約システム研修	4/19、9/12~13
	OffJT (外部研修)	救急救命講習
	マナー研修	9/24
	人権研修	9/31
	サービス介助士	3/3
	財務研修	9/30、3/31

内容	部数・規模	対象				実施開始時期
		館内	緑区	横浜市	市外	
イベントスケジュール		○	○	○		10月～(月1)
印刷物(チラシ・ポスター)	3000部	○	○	○		4月～(随時)
広報みどり	緑区全戸	○	○			4月～(月1)
プレスリリース(自主事業)	横浜市経済記者クラブ等	○	○	○	○	随時
ホームページ		○	○	○	○	4月～
SNS(Twitter、FB)		○	○	○	○	5月～
アウトリーチ(キャラバン隊等)	地区センター、ケアプラザ	○	○			9月～(年5回)
広告誌(地域情報誌、新聞等)		○	○	○	○	10月～(随時)

◎利用促進

3に記載しております

	アートマネジメント研修	3/21
	清掃法定研修	1/30
	公共建築物管理研修	6/4
	シックハウス対策説明会	7/2
	ゴミゼロ推進委員会	6/20
	他施設研修	9/18～19
自己啓発		随時

⑦広報

本年度は新しくできた区民文化センターの「周知」を目的に、できるだけ多くの区民に区民文化センターを知っていただく広報を目標に事業対象となる顧客層を把握し、一番適切な手段で広報活動を行いました。

内容	部数・規模	対象				実施時期
		館内	緑区	横浜市	市外	
イベントスケジュール		○	○	○		10月～(月1)
印刷物(チラシ・ポスター)	約3000部	○	○	○		4月～(随時)
広報みどり	緑区全戸	○	○			4月～(月1)
プレスリリース(自主事業)	横浜市経済記者クラブ等	○	○	○	○	随時
ホームページ		○	○	○	○	4月～
SNS(Twitter、FB)		○	○	○	○	5月～
アウトリーチ(キャラバン隊等)	地区センター、ケアプラザ	○	○			9月～10月 (計5回)
広告誌(地域情報誌、新聞等)		○	○	○	○	7月～(随時)

◎利用促進

3に記載しております

7 平成 25 年度の施設管理に関する計画について

(1) 趣旨

施設の基礎情報を把握し、迅速な対応で快適な環境を提供し、安全を確保します。

「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」を以下の通り策定します。25年度は、水光熱費等実績把握することに努め、26年度以降の提案書に基づく既定スケジュール管理のもと実施して参ります。

期間と視点	概要
1年目 施設の基礎情報の把握	最初に行う現状把握は極めて重要であり、最も手間と時間がかかるものです。運営管理の運用実態を含め広く全体に問題点を把握できるよう、可能な限り広範囲に調査します。また、この段階の維持保全にかかわるコストの把握に関しては、おおよその長期維持保全の方針をたてるために、概算レベルのコストで全体を把握します。
2年目 施設データの一元化	施設データは、利活用することが目的であるため、詳細なデータを集めるよりは、実際に必要なデータを絞り込むことが大切です。情報の一元化を行い、運営リスクを最大限考慮した施設マネジメントの土台を構築します。
3年目 予防保全、予測保全対応機器リストの作成	計画的に適切な処理を行うことにより、故障や停止、事故の発生や休館などを未然に防ぎ（リスクの評価）、コストの平準化や利用者サービスの低下を最低限に抑えるための機器の抽出及び修繕費用（部品交換を含め）をまとめます。（おもに緑区が修繕費の支出を伴うもの）。
4年目 「事後保全対応機器リスト」の作成	異常が発生しても機器の故障などの影響により大きなリスクを伴わないもの、部品の手配や交換が容易な機器を選別します。この時点で簡易的な長中期保全実施計画（一部単年度実施計画）を策定します。
5年目 「中長期保全実施計画」の作成	計画を作成し、実践していく段階にします。今後2～10年以上にわたる施設の標準的な保全の周期に基づいて計画します。しかし、施設の特性上リスクの大きい施設や管理組合との状況により判断して策定します。区が負担する予防保全については、費用の平準化も不可欠な要素です。特に管理組合との関係（共用施設に係るようなもの）が予測されるものについては、区及び管理組合と十分に協議したうえで計画を立案します。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

①施設設備管理

- ・月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。
- ・日常点検時・定期点検時において発見された不具合は、状況を蓄積しデータ化し、建物独自の傾向を把握し、不具合箇所の早期発見・早期補修を行います。
- ・施設管理計画表（別添）に基づき定期的な施設点検を実施します。
- ・維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施します。今年度はPLANとなり、自社点検が出来るものと、専門性の高いメーカー点検を必要とする設備を見極め、保守計画を作成し、実施します。
- ・舞台機構の維持管理、建築設備の維持管理については、区の定めた仕様に基づき、メーカーもしくは、メーカーの推奨する保全会社に発注します。
- ・3か月毎に厚生労働省指定の13種類の揮発性有機化合物の濃度指針値の測定を行い公表します。（シ

7 平成 25 年度の施設管理に関する総括

(1) 趣旨

施設の基礎情報を把握し、迅速な対応で快適な環境を提供し、安全を確保しました。

「施設の維持保全にかかわる5か年活動計画」を以下の通り策定します。25年度は、水光熱費等実績把握することに努め、26年度以降の提案書に基づく既定スケジュール管理のもと実施しました。

期間と視点	概要
1年目 施設の基礎情報の把握	最初に行う現状把握は極めて重要であり、最も手間と時間がかかるものです。運営管理の運用実態を含め広く全体に問題点を把握できるよう、可能な限り広範囲に調査します。また、この段階の維持保全にかかわるコストの把握に関しては、おおよその長期維持保全の方針をたてるために、概算レベルのコストで全体を把握します。
2年目 施設データの一元化	施設データは、利活用することが目的であるため、詳細なデータを集めるよりは、実際に必要なデータを絞り込むことが大切です。情報の一元化を行い、運営リスクを最大限考慮した施設マネジメントの土台を構築します。
3年目 予防保全、予測保全対応機器リストの作成	計画的に適切な処理を行うことにより、故障や停止、事故の発生や休館などを未然に防ぎ（リスクの評価）、コストの平準化や利用者サービスの低下を最低限に抑えるための機器の抽出及び修繕費用（部品交換を含め）をまとめます。（おもに緑区が修繕費の支出を伴うもの）。
4年目 「事後保全対応機器リスト」の作成	異常が発生しても機器の故障などの影響により大きなリスクを伴わないもの、部品の手配や交換が容易な機器を選別します。この時点で簡易的な長中期保全実施計画（一部単年度実施計画）を策定します。
5年目 「中長期保全実施計画」の作成	計画を作成し、実践していく段階にします。今後2～10年以上にわたる施設の標準的な保全の周期に基づいて計画します。しかし、施設の特性上リスクの大きい施設や管理組合との状況により判断して策定します。区が負担する予防保全については、費用の平準化も不可欠な要素です。特に管理組合との関係（共用施設に係るようなもの）が予測されるものについては、区及び管理組合と十分に協議したうえで計画を立案します。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

①施設設備管理

- ・月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回（12月13日実施）行いました。
- ・日常点検時・定期点検時において発見された不具合は、状況を蓄積しデータ化し、報告。建物独自の傾向を把握し、不具合箇所の早期発見・早期補修に引き続き努めます。
- ・平成25年度緑区民文化センター管理実績表（別添）に基づき定期的な施設点検を実施しました。
- ・維持保全のPDCAサイクルを計画的に実施します。今年度はPLANとなり、自社点検が出来るものと、専門性の高いメーカー点検を必要とする設備を見極め、保守計画を作成し、実施しました。
- ・舞台機構の維持管理、建築設備の維持管理については、区の定めた仕様に基づき、引き続きメーカーもしくは、メーカーの推奨する保全会社に発注します。
- ・厚生労働省指定の13種類の揮発性有機化合物の濃度指針値の測定を1月28日、3月24日に行い、

ックハウス対応)。

②清掃

- ・仕様書内清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。
- ・年に1回8時間の清掃法定研修を行います。

③省エネ

- ・25年度は水光熱費等実績を把握することに努め、26年度以降スケジュール管理のもと省エネチューニングを実施します。

HPにて結果を公表しました。(シックハウス対応)。

②清掃

- ・仕様書内清掃・項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施しました。
- ・年に1回8時間の清掃法定研修を1月30日に実施しました。

③省エネ

- ・25年度は水光熱費等実績を把握することに努めました。26年度以降スケジュール管理のもと省エネチューニングを実施します。

8 その他の計画について

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

(1) 趣旨

東日本大震災を踏まえ、事件・事故発生直後は、短時間に多くのことが求められることから、それに戸惑うことなく危機管理マニュアル等により初動体制を確立し、危機管理に当たることが重要であると考えます。

(2) 具体的取組内容

①危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制

- ・横浜市全域の消防行政に深くかかわった経歴のある防災顧問を設置し、防災計画の作成並びに避難訓練の実施、普通救命講習を行います。
- ・管理組合や防災センター、自治会と連携することで人的な防犯、防災体制の構築を図ります。
- ・日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）による日常管理の充実。
- ・ホール災害の意識高揚を目的とした防災コンサートを実施します。
- ・全スタッフの普通救命講習資格取得を目指します。
- ・緑区民文化センター危機管理マニュアルを作成します。
- ・帰宅困難者対応（300人分の備蓄目標）を想定し、受入体制を整えます。受入訓練に関しましては、緑区防災担当と調整を行います。
- ・災害復旧用備品（レインウェア、防護服、ヘルメット、手袋、バール、のこぎり、油圧ジャッキ）、情報提供用品（テレビ、ラジオ）を整備します。
- ・休館日や開館時間外も対応可能な人材配備をします。
- ・事業継続のため、職員3日分の食糧を備蓄します。
- ・感染症対策のため、全従業員の勤務3ヵ月分のマスクと手指消毒薬を確保します。またインフルエンザ期には手指消毒液を設置します。

②個人情報保護体制

- ・個人情報保護研修を全スタッフが受講し、適正に取扱います。
- ・個人情報取り扱いマニュアル、情報公開マニュアルを作成します。
- ・利用者から個人情報をいただく場合は、その目的をあらかじめ明示し、その範囲内で利用します。

③ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

- ・館内にご意見箱を設置また、ホームページにもご意見箱のページを作成し、利用者からのご意見、苦情を週に1回集約します。回答に関してはホームページ若しくは館内に適宜張り出し、公表します。

④その他の法令順守体制

- ・平成18年度から、コンプライアンスとリスクマネジメントに加えて、環境とCS（お客さま満足）、

8 その他の計画について総括

(危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制、個人情報保護体制、ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い、その他の法令順守体制、自己評価・実績評価等)

(1) 趣旨

東日本大震災を踏まえ、事件・事故発生直後は、短時間に多くのことが求められることから、それに戸惑うことなく危機管理マニュアル等により初動体制を確立し、危機管理に当たることが重要であると考え、十分な心構えも含めて日常的にも危機管理意識の共有をスタッフ全員に行き渡るようにしました。

(2) 具体的取組内容

①危機管理体制、防犯・防災体制、その他緊急時体制

- ・横浜市全域の消防行政に深くかかわった経歴のある防災顧問を設置し、防災計画の作成並びに避難訓練の実施、普通救命講習を全職員にて行いました。
- ・管理組合や防災センター、自治会と連携することで人的な防犯、防災体制の構築を図りました。
- ・日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）による日常管理の充実に努めました。
- ・ホール災害の意識高揚を目的とした防災コンサートを9月21日に実施しました。
- ・全スタッフが普通救命講習資格を取得しました。
- ・緑区民文化センター危機管理マニュアルを作成しました。
- ・緑区と帰宅困難者受入れの協定を結びました。
- ・2月14日に大雪時に、区の要請を受け、JR長津田駅の帰宅困難者300名の受け入れを行いました。
- ・引き続き帰宅困難者対応（300人分の備蓄目標）を想定し、受入体制を整えます。
- ・災害復旧用備品（レインウェア、防護服、ヘルメット、手袋、バール、のこぎり、油圧ジャッキ）、情報提供用品（テレビ、ラジオ）を整備しました。
- ・休館日や開館時間外も対応可能な人材配備をしております。
- ・事業継続のため、職員3日分の食糧を備蓄しました。
- ・感染症対策のため、全従業員の勤務3ヵ月分のマスクと手指消毒薬を確保し、またインフルエンザ期には手指消毒液を設置しました。

②個人情報保護体制

- ・個人情報保護研修を全スタッフが5月、9月に受講し、適正に取扱いました。
- ・個人情報取り扱いマニュアル、情報公開マニュアルを作成しました。
- ・利用者から個人情報をいただく場合は、その目的をあらかじめ明示し、その範囲内で利用しております。

③ご意見、苦情及び情報公開の取り扱い

- ・館内にご意見箱を設置また、ホームページにもご意見箱のページを作成し、利用者からのご意見、苦情を週に1回集約します。回答に関してはホームページにて公表するようにしました。

社会貢献を新たに取組テーマに加え、平成20年度から、「相鉄グループCSR」として取り組みを展開しています。

- ・毎朝の朝礼を行い、公の施設を運営する一員としての自覚を啓発します。

④自己評価・実績評価等

- ・PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組みます。
- ・利用者に対するモニタリングを年に1回実施します。
- ・利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組みます
- ・各世代で構成される、モニター制度を設計します。
- ・月2回、スタッフで構成するサービス向上委員会を開催します。

④その他の法令順守体制

- ・平成18年度から、コンプライアンスとリスクマネジメントに加えて、環境とCS（お客さま満足）、社会貢献を新たに取組テーマに加え、平成20年度から、「相鉄グループCSR」として取り組みを展開。
- ・毎朝の朝礼を行い、情報の共有を図り、公の施設を運営する一員としての自覚を啓発しております。

④自己評価・実績評価等

- ・PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組みました。
- ・貸館利用者に対するモニタリングを2月に実施し、利用者会議を3月17日に実施しました
- ・自主事業毎にアンケートを実施、また貸館利用者にもアンケート月間を定め、利用者アンケートを実施、直接・間節に寄せられる利用者の声も記録しました。これらの結果を常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組んでいます。
- ・各世代で構成される、モニター制度設計を開始しました。
- ・月2回、スタッフで構成するサービス向上委員会を開催し、お客様からのご意見を共有し、また各部門のスタッフから、サービス向上のための意見を集約し、お客様へのサービス向上に努めました。

9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

(1) 趣旨

区民ニーズを把握し、事業収入の確保と費用対効果向上に努めます。
また、簡素で効率的な運営による経費節減を実施します。

(2) 具体的取組内容(実施事項)

①区民に求められている魅力ある文化事業を展開します。

- ・付加価値の高い自主事業の実施により、自主事業収入増を図ると共に、人気と評価の高い事業を積極的にを行い、収益性も向上させます。
- ・地域創造活動の支援や低料金で質の高い鑑賞事業を実施します。

②お客様満足度および施設利用率の向上に努めます。

- ・区民のニーズを把握するため、自主事業ごとにアンケートを行い、その結果を次回に活かします。
- ・Twitter等で空き室状況をリアルタイムで開示します。
- ・休館日をできる限り少なくし、時間区分ごとに点検コマを利用し、利用率の向上に努めます。
- ・年に2回利用者会議を開催し、お客様から直接意見をうかがえる機会を設け運営に生かします。

③企業からの協賛金・広告料収入等の獲得に努めます。

- ・平成26年の協賛金、広告料収入獲得に向けて自主事業実績を作ります。

④簡素で効率的な運営を行います。

- ・運営の実績を踏まえ、職員配置の適正化等により、簡素で効率的な組織とします。また、超過勤務時間の縮減により、人件費を抑え、組織体制を恒常的に見直します。
- ・指定管理業務及び総合ビルメンテナンス業務経験を生かし、ハード(人、物)及びソフト(運用、管理方法)の両面からコストの縮減を行います。また幅広く施設を管理し積み重ねたデータから適切な管理手法を取り入れ、コスト縮減を促進する体制を整えます。また、これらに加え恒常的な改善活動、改善の原則「やめる、統合する、代替、単純化」を活用し削減を図ります。
- ・常にマルチジョブの意識を持ち、組織のスリム化を図るとともに、委託費等の削減を図ります。組織はスリム化しますが、安全・安心・快適は向上させ、利用者サービスの向上に努めます。また、備品購入についても、LCC(ライフサイクル・調達～使用～保守～廃棄)を十分検討し、経費削減を徹底します。
- ・点検等は自社、直営スタッフで出来る点検と、専門性、技術、安全性を必要とする点検を見極め、委託業務を検討し、経費削減に努めます。

9 収支について

(収入確保、経費節減努力、費用対効果向上等(最大限の入場料収入の確保、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得、利用者満足度・施設利用率の向上等))

(1) 趣旨

区民ニーズを把握し、事業収入の確保と費用対効果向上に努めております。
また、簡素で効率的な運営による経費節減を実施します。

(2) 具体的取組内容

①区民に求められている魅力ある文化事業を展開します。

- ・付加価値の高い自主事業の実施により、自主事業収入増を図ると共に、人気と評価の高い事業を積極的にを行い、収益性も向上させます。
- ・地域創造活動の支援や低料金で質の高い鑑賞事業を実施しました。

②お客様満足度および施設利用率の向上に努めます。

- ・区民のニーズを把握するため、自主事業ごとにアンケートを実施。結果を次回に反映しております。
- ・Twitter等で空き室状況をリアルタイムで開示しております。
- ・休館日をできる限り少なくし、時間区分ごとに点検コマを利用し、利用率の向上に努めます。
- ・3月17日に第一回利用者会議を開催し、お客様から直接意見をうかがえる機会を設けました。

③企業からの協賛金・広告料収入等の獲得に努めます。

- ・平成26年の協賛金、広告料収入獲得に向けて自主事業実績を作りました。

④簡素で効率的な運営を行います。

- ・運営の実績を踏まえ、職員配置の適正化等により、簡素で効率的な組織とします。また、超過勤務時間の縮減により、人件費を抑え、引き続き組織体制を恒常的に見直します。
- ・指定管理業務及び総合ビルメンテナンス業務経験を生かし、ハード(人、物)及びソフト(運用、管理方法)の両面からコストの縮減を行います。また幅広く施設を管理し積み重ねたデータから適切な管理手法を取り入れ、コスト縮減を促進する体制を整えます。また、これらに加え恒常的な改善活動、改善の原則「やめる、統合する、代替、単純化」を活用し削減を図りました。
- ・常にマルチジョブの意識を持ち、組織のスリム化を図るとともに、委託費等の削減を図ります。組織はスリム化しますが、安全・安心・快適は向上させ、利用者サービスの向上に努めます。また、備品購入についても、LCC(ライフサイクル・調達～使用～保守～廃棄)を十分検討し、経費削減を徹底しました。
- ・点検等は自社、直営スタッフで出来る点検と、専門性、技術、安全性を必要とする点検を見極め、委託業務を検討し、経費削減に努めました。

平成25年度横浜市緑区民文化センター収支決算書

収入の部

(単位:円(税込))

科目	当初予算額 (A)	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	合計 (B)	差引 (A-B)	予算達成率 (B/A)	説明
指定管理料	57,697,000			28,848,498	28,848,502	57,697,000	0	100.0%	
利用料金収入	13,911,000			4,405,920	4,634,450	9,040,370	4,870,630	65.0%	
自主事業収入	4,210,000			1,356,179	758,464	2,114,643	2,095,357	50.2%	
雑入	656,000	0	0	38,064	122,590	160,654	495,346	24.5%	
収入合計	76,474,000	0	0	34,648,661	34,364,006	69,012,667	7,461,333	90.2%	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	合計 (B)	差引 (A-B)	予算達成率 (B/A)	説明
人件費	32,677,000	0	0	18,010,649	18,155,087	36,165,736	-3,488,736	110.7%	
給与・賃金	14,536,000			8,968,911	9,073,422	18,042,333	-3,506,333	124.1%	
社会保険料	1,812,000			1,099,945	1,135,777	2,235,722	-423,722	123.4%	
通勤手当	1,254,000			404,296	408,391	812,687	441,313	64.8%	
舞台技術他	15,075,000			7,537,497	7,537,497	15,074,994	6	100.0%	
事務費	3,822,000	0	0	2,937,319	1,335,459	4,272,778	-450,778	111.8%	
仕入費	0			83,538	7,700	91,238	-91,238	—	
材料費	240,000			698,649	97,601	796,250	-556,250	331.8%	マイクケーブルなど
機械器具費	240,000			0	0	0	240,000	0.0%	
被服費	140,000			0	0	0	140,000	0.0%	
備用品費	1,622,000			697,901	555,165	1,253,066	368,934	77.3%	館内備品類、事務用品、外付け共用HDDなど
旅費交通費	48,000			30,540	48,550	79,090	-31,090	164.8%	
通信運搬費	318,000			108,760	117,271	226,031	91,969	71.1%	電話代、郵送代など
研修費	24,000			0	0	0	24,000	0.0%	
借地借家費	0			0	0	0	0	—	
会議費	36,000			7,920	37,774	45,694	-9,694	126.9%	業務打合せ費
交際費	30,000			10,000	20,000	30,000	0	100.0%	
諸会費	20,000			10,000	0	10,000	10,000	50.0%	緑火災予防協会年会費
広告宣伝費	348,000			330,220	219,585	549,805	-201,805	158.0%	ホームページ管理料、MAPまっぷ印刷代
損害保険料	150,000			736,250	8,970	745,220	-595,220	496.8%	指定管理者賠償、火災保険料
諸使用料	96,000			93,450	95,320	188,770	-92,770	196.6%	AEDリース
リース料	492,000			92,640	92,640	185,280	306,720	37.7%	複合機・リソグラフィリース料
手数料	6,000			13,520	9,625	23,145	-17,145	385.8%	
寄付金	0			0	0	0	0	—	
雑費	12,000			4,383	5,702	10,085	1,915	84.0%	
その他	0			19,548	19,556	39,104	-39,104	—	機械警備システム減価償却費
事業費	8,052,000	0	0	4,055,436	4,069,659	8,125,095	-73,095	100.9%	
自主事業費	8,052,000			4,055,436	4,069,659	8,125,095	-73,095	100.9%	
管理費	17,436,000	0	0	10,061,570	8,930,479	18,992,049	-1,556,049	108.9%	
光熱水費(管理費A)	5,904,000	0	0	3,506,901	3,317,247	6,824,148	-920,148	115.6%	
電気料金	4,100,000			2,817,963	2,361,312	5,179,275	-1,079,275	126.3%	
ガス料金	1,582,000			495,064	763,949	1,259,013	322,987	79.6%	
水道料金	222,000			193,874	191,986	385,860	-163,860	173.8%	
保守管理費(管理費B)	11,532,000	0	0	6,554,669	5,613,232	12,167,901	-635,901	105.5%	
清掃費	3,471,000			1,723,715	1,766,233	3,489,948	-18,948	100.5%	
修繕費	0			46,305	0	46,305	-46,305	—	授乳室鍵交換費
機械警備費	189,000			94,500	94,500	189,000	0	100.0%	
消防設備点検費	0			0	0	0	0	—	
中央監視装置保守	0			0	0	0	0	—	
空調自動制御保守	411,000			410,550	0	410,550	450	99.9%	
空調衛生設備保守	1,085,000			1,084,650	0	1,084,650	350	100.0%	
エレベーター(兼用)保守	491,000			245,700	245,700	491,400	-400	100.1%	
エレベーター(荷物用)保守	479,000			239,400	239,400	478,800	200	100.0%	
自動ドア保守	252,000			126,000	126,000	252,000	0	100.0%	
シャッター保守	112,000			0	112,350	112,350	-350	100.3%	
電気設備保守	293,000			146,475	146,475	292,950	50	100.0%	
自家用発電機保守	179,000			178,500	0	178,500	500	99.7%	
電話交換機保守	378,000			189,000	189,000	378,000	0	100.0%	
監視カメラ点検	375,000			374,850	0	374,850	150	100.0%	
非常用放送設備	0			0	0	0	0	—	
舞台音響映像設備保守	759,000			0	759,150	759,150	-150	100.0%	
音響測定	721,000			0	721,350	721,350	-350	100.0%	
舞台吊物機構設備保守	951,000			475,650	475,650	951,300	-300	100.0%	
ホール舞台照明設備保守	625,000			624,750	0	624,750	250	100.0%	
ピアノ保守管理	116,000			115,500	0	115,500	500	99.6%	
ピアノ調律	42,000			64,050	63,000	127,050	-85,050	302.5%	
衛生管理費(空気環境測定等)	189,000			63,000	445,200	508,200	-319,200	268.9%	法定空環・VOC13種類
害虫防除費	79,000			0	78,750	78,750	250	99.7%	
植栽管理	0			0	0	0	0	—	
設備総合巡視点検	95,000			47,250	47,250	94,500	500	99.5%	
その他	240,000			304,824	103,224	408,048	-168,048	170.0%	座席点検・レンタルマット代・ピアノ移動費など
管理費(管理組合負担金)	4,800,000			2,204,640	2,204,640	4,409,280	390,720	91.9%	
公租公課	82,000			15,865	31,141	47,006	34,994	57.3%	
事務経費	9,605,000			4,802,500	4,802,500	9,605,000	0	100.0%	
支出合計	76,474,000	0	0	42,087,979	39,528,965	81,616,944	-5,142,944	106.7%	
差引	0	0	0	-7,439,318	-5,164,959	-12,604,277	12,604,277	—	

平成25年度緑区民文化センター利用料金収入実績

(単位：円(税込))

	利用料金 収入合計	利用料金収入内訳																	備考						
		施設 利用料	施設利用料内訳																	附帯 設備 利用料					
			ホール	ホール内訳			楽屋1	楽屋2	楽屋3	楽屋4	ギャラ リー	ギャラリー内訳		リハーサ ル室	練習室1	練習室2	練習室3	会議室A			会議室B				
				入場料無	入場料有	入場料無						入場料有													
4月	0	0	0						0																
5月	0	0	0						0																
6月	0	0	0						0																
7月	0	0	0						0																
8月	0	0	0						0																
9月	0	0	0						0																
10月	1,435,350	953,650	407,540	216,540	191,000	10,800	14,700	20,800	28,600	90,300	90,300	0	196,750	31,000	33,900	57,250	31,705	30,305	481,700						
11月	1,372,670	1,022,570	395,170	337,170	58,000	9,000	7,700	7,200	14,300	120,400	120,400	0	240,500	46,700	41,000	59,000	39,200	42,400	350,100						
12月	1,597,900	1,145,000	496,200	438,200	58,000	10,800	14,000	11,200	15,400	86,000	86,000	0	264,100	37,850	49,500	87,200	43,550	29,200	452,900						
1月	1,411,650	1,035,350	582,400	431,900	150,500	7,800	12,600	9,600	20,900	0	0	0	218,850	28,800	37,800	36,300	41,050	39,250	376,300						
2月	1,198,750	812,450	399,400	344,900	54,500	7,800	6,300	3,200	14,300	30,100	30,100	0	151,800	36,700	37,500	55,850	36,400	33,100	386,300						
3月	2,024,050	1,411,850	742,800	675,050	67,750	19,800	24,500	24,000	36,300	60,200	60,200	0	281,100	55,200	43,750	65,050	24,150	35,000	612,200						
合計	9,040,370	6,380,870	3,023,510	2,443,760	579,750	66,000	79,800	76,000	129,800	387,000	387,000	0	1,353,100	236,250	243,450	360,650	216,055	209,255	2,659,500						

※ 施設使用日ベースでの入力をお願いします。

平成25年度横浜市緑区民文化センター施設別時間別利用人数

		上半期							下半期							合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	
ホール	9:00～12:00							0	1,468	1,062	1,455	949	1,041	1,121	7,096	7,096
	13:00～17:00							0	1,774	1,583	1,326	1,306	2,301	3,324	11,614	11,614
	18:00～22:00							0	1,288	930	856	1,724	556	3,010	8,364	8,364
	計	0	0	0	0	0	0	0	4,530	3,575	3,637	3,979	3,898	7,455	27,074	27,074
	キャブリー							0	1,193	2,015	351	625	420	964	5,568	5,568
リハールサル室	9:15～12:15							0	300	410	365	259	394	696	2,424	2,424
	12:45～14:45							0	308	345	264	242	184	746	2,089	2,089
	15:00～17:00							0	315	414	304	218	180	584	2,015	2,015
	17:30～19:30							0	205	246	250	320	237	351	1,609	1,609
	19:45～21:45							0	160	63	112	271	170	214	990	990
計	0	0	0	0	0	0	0	1,288	1,478	1,295	1,310	1,165	2,591	9,127	9,127	
練習室1	9:15～12:15							0	25	30	29	22	22	31	159	159
	12:45～14:45							0	19	35	31	17	21	42	165	165
	15:00～17:00							0	24	32	33	21	19	49	178	178
	17:30～19:30							0	7	16	26	6	11	19	85	85
	19:45～21:45							0	6	18	18	8	15	13	78	78
計	0	0	0	0	0	0	0	81	131	137	74	88	154	665	665	
練習室2	9:15～12:15							0	39	29	38	17	23	44	190	190
	12:45～14:45							0	42	50	33	41	21	36	223	223
	15:00～17:00							0	34	46	24	38	29	62	233	233
	17:30～19:30							0	19	39	43	18	27	12	158	158
	19:45～21:45							0	14	22	23	7	10	12	88	88
計	0	0	0	0	0	0	0	148	186	161	121	110	166	892	892	
練習室3	9:15～12:15							0	41	56	65	41	29	82	314	314
	12:45～14:45							0	54	74	84	30	42	92	376	376
	15:00～17:00							0	46	52	74	41	46	88	347	347
	17:30～19:30							0	12	26	42	24	29	47	180	180
	19:45～21:45							0	3	19	38	9	14	31	114	114
計	0	0	0	0	0	0	0	156	227	303	145	160	340	1,331	1,331	
会議室A	9:15～12:15							0	112	174	129	100	105	203	823	823
	12:45～14:45							0	127	147	135	114	121	190	834	834
	15:00～17:00							0	104	147	127	105	113	159	755	755
	17:30～19:30							0	31	65	20	24	40	103	283	283
	19:45～21:45							0	16	25	0	19	39	80	179	179
計	0	0	0	0	0	0	0	390	558	411	362	418	735	2,874	2,874	
会議室B	9:15～12:15							0	83	180	132	124	133	311	963	963
	12:45～14:45							0	79	175	102	116	164	310	946	946
	15:00～17:00							0	66	137	102	95	151	270	821	821
	17:30～19:30							0	61	65	30	13	0	97	266	266
	19:45～21:45							0	28	40	0	3	0	69	140	140
計	0	0	0	0	0	0	0	317	597	366	351	448	1,057	3,136	3,136	
合計		0	0	0	0	0	0	0	8,103	8,767	6,661	6,967	6,707	13,462	50,667	50,667
その他窓口相談等人数		0	0	0	0	0	0	0	977	1602	1199	901	925	1270	6874	6874

平成25年度自主事業報告書

事業種別	事業名	開催時期	開催場所	開催回数	入場・参加人員		文化事業経費				1人あたり入場・参加料		事業概要
					募集人数(人)	延人数(人)	指定管理料 充当額 (円)	入場・ 参加者 負担額 (円)	その他 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	入場・参加料単価 (円)	
④	みどりアートパークキャラバン	9月～10月	区内各地区センター・中山ケ アブラザ	5回	50×5	250	167,055	0	0	167,055	無	0	
①	第一回みどりアートパーク寄席	10/12(土)	ホール	1	300	151	271,561	219,093	0	490,654	有	一般2000 高校生以下 1000 70歳以上・障がい者1000	
②③	みんなdeパフォーマンス	10/19(土)、20 (日)	ホール	2日	10人×30	400	1,041,562	62,000	0	1,103,562	無	大人以上 1団体2000 高校生以下 1団体500	
①②③	ダ・カーポコンサート	11/23(土)	ホール	1	300	269	534,412	572,273	0	1,106,685	有	一般3000 高校生以下 1000 70歳以上・障がい者1500	
①②	鴨居小学校出前公演	11/20(金)	鴨居小	1日1回	64	64	-7,500	0	60,000	52,500	無	0	横浜市芸術文化プラット フォーム事業
④	十日市場小学校ワークショップ	12/10(火)、11 (水)	十日市場小	2日4回	132	132	174,809	0	180,000	354,809	無	0	横浜市芸術文化プラット フォーム事業
④	街道ものがたり～大山街道その1	12/7(土)	ホール	1	300	66	78,007	53,587	0	131,594	有	一般1000 高校生以下500 70歳以上・障がい者700	
①	ロバの音楽座 みどりの森のクリスマス	12/15(日)	ホール	1	300	293	439,351	209,226	0	648,577	有	一般1000 高校生以下 500 親子1200	
①	森日出夫写真展「森の観測」 SCENERY of Yokohama	1/12(日)～ 26(日)	ギャラリー	15日間		624	361,320	0	0	361,320	無	0	
②④	ゴスペル・ワークショップ	1/14(金)～	リハーサル室	4回	60 (300)	61 (164)	533,490	244,000	0	777,490	有	参加料4000	ワークショップ4回 発表ステージ1回(3/2)
④	街道ものがたり～大山街道その2	2/1(土)	リハーサル室	1	30	44	39,032	18,500		57,532	有	500	
②	「ヨコハマをこんなまちにしよう」緑区の小学生 からの提案緑区 環境絵日記展	2/4(火)～ 16(日)	ギャラリー	13日間	約200点	195	142,405	0		142,405	無	0	
①	おしゃべりジャズ倶楽部	2/14(金)	ホール	1	300	62	627,239	125,362		752,601	有	一般2000 高校生以下500 70歳以上・障がい者1000	
②③	親子野外体験講座 「佐々木洋の自然観察会」	2/15(土)	リハーサル室	1	60	22	0	0		0	有	100	長津田地区センターと共 催
①	身体で聴こう音楽会「日本語と英語で歌う 童謡コンサート」	2/16(日)	ホール	1	300	222	689,156	0		689,156	無	0	後天的難聴者も楽しめる 退館音響システムを使用。
①④	ロビーコンサートvol.1 (オカリナとギター)	2/21(金)	ホールホワイ エ	1	50	54	57,215	0		57,215	無	0	コンサート後ホワイエ開 放
④	街道ものがたり～大山街道その3	3/1(土)	リハーサル室	1	60	29	43,033	14,500		57,533	有	500	
②	バックステージツアー	3/2(日)	ホール	1	25	12	1,000	0		1,000	無	0	
②③	高校生ギャラリー「白山高校美術コース 卒業展」	3/11(火)～ 17(月)	ギャラリー	7日間		294	20,000	0		20,000	無	0	共催
①	チリンとドロン	3/8(土)	リハーサル室	1	60	75	210,524	27,316		237,840	有	子ども100 大人500	

①④	アフタヌーンコンサート (サクソフォン)	3/14(金)	リハーサル室	1	20	32	14,393	0	14,393	無	0	
①	第二回みどりアートパーク寄席 「花見だ！花見だ！」	3/19(水)	ホール	1	300	180	125,490	327,086	452,576	有	一般3000 高校生以下 1000	
②	「理想の区民文化センターを考える」ト ークセッション	3/21(土)	会議室	1	20	2	0	0	0	無	0	
①④	ロビーコンサートvol.2 (フルートとマリンバ)	3/24(月)	ホールホワイ エ	1	50	92	44,548	0	44,548	無	0	コンサート後ホワイエ開 放
②	ステージ体験ワークショップ「舞台をつくろ う！」	3/26(水)～ 29(土)	リハーサル 室・ホール	4	30	6	402,350	1,700	404,050	有	500 (1日@100、2日@200、3日@ 300、4日@500)	1日@2人、2日@1人 3日@1人、4日@2人
②④	長津田十景写真展公募準備	1月～3月	-	来年度			0		0	無	0	準備業務
合計							3,320	6,010,452	1,874,643	240,000	8,125,095	

意見・要望・提案・指摘事項対応状況報告

	年月日	内容	対応結果
1	25.10.13	広報活動が遅すぎる(なぜ月間公演スケジュールがいつまでもHPに公開されないのでしょうか?)とのメールを頂戴いたしました。	ご指摘の広報、チケット販売の告知等々広報活動が至らなかった点につきましては、真摯に受け止めご期待に添えるようスタッフ一同改めて取り組んで参ります。ホームページは10月14日時点で最新状態とさせていただきます。(メールにて返信回答済み)
2	25.10.25	貸館利用者より。利用者が少ないのは、案内方法に問題があるのではないかと。もっと告知方法に力を注いでもらいたい。(ご意見箱)	周知方を図るための努力はしているが、マークタウンの一テナントとしての立場から、制約事項の範囲内で何とか協力をいただき告知をしている。継続して周知を図るための行動を行っていきます。(ホームページ上に掲載済み)
3	25.11.3	来館者より。ギャラリーを見学させていただいたが、せつかくの作品展示会なのに来館客が少ない。告知及び場所の案内を強化すべきと思うが。	緑区の協力もいただき、長津田駅構内及びバスターミナル工事現場柵に案内表示を掲出していただく等できうる可能な範囲で周知・告知努力を継続して実施していきます。(ホームページ上に掲載済み)
4	〃	来館者より。初めて来館させていただいたがギャラリーがすごくよかった。	開館に際してのオープニングシリーズをご頼いただき感謝申し上げます。利用者アンケート等によりお客様の声を反映させた催事を展開して参ります。(メールにて返信済み)
5	26.1.17	電話の対応が非常に悪く、やる気を全く感じさせない態度であった。再教育すべき。(区役所にメール送信、区役所経由で連絡あり)	1月25日以降の朝礼及びサービス向上委員会において、当該事実を説明。接客対応について既に研修実践(マナー研修他)した内容を再度確認徹底を図った。
6	26.1.23	受付にて身障者を車で連れて来たいが、館内の掲示案内では送迎のみ説明されているが、来館する前に何らかの説明がなされておかれるべきではないか?	従前の掲示物では、ご指摘のとおり送迎のみの案内だけであったことから、ホームページを含めケースバイケースの対応とすることから、すべて事前に電話等で相談をしていただくよう内容を修正した。
7			
8			
9			
10			

サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
1	25.10.5～	委託期間中より実施していたが、個人情報に抵触しないコピー用紙をサイズ別にストックしておき、内部用の会議資料用や掲示物に代用して使用している。	現時点では、実績を積算していく時期でもあり次年度比較対象として、さらに使用枚数削減に向けてのデータベース構築を行っていく。
2	25.12月上旬～	備品として、貸室及び受付周辺にミニテーブルを設置し、身の回りの荷物の一時置き場として提供を開始した。	それまで荷物の置き場に不自由されていたお客様に利便性の向上を感じていただいております。
3	25.12.月上旬～	委託期間中の冷房時期と同様に暖房時期に突入するに際して、貸館の有無を確認の上こまめな運転管理に努めた。(省エネチューニングの実施)	データ蓄積をこまめにチェックし、次年度のより効率化を図る運転管理の基礎データストックとしていく。
4	25.12.月上旬～	空調同様に電気(照明)使用についても、貸館の有無、日照時間によるオンオフを心がけ省エネ管理に努めた。	”
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成25年度広報活動内容報告

	実施時期	内 容	効 果
1	4月1日	広報よこはまみどり区版 4月号	トライアル月間「区民企画事業」募集ほか
2	7月1日	広報よこはまみどり区版 7月号	みんなdeパフォーマンス参加募集
3	7月31日	緑区プレスリリース(市政記者会等に資料配付)	開館記念プログラム決定
4	8月1日	広報よこはまみどり区版 8月号	施設開館、開館記念事業の告知
5	8月19日 ～ 10月11日	横浜音祭り2013公式プログラム掲載	横浜市文化観光局主催の横浜音祭り2013に参加し、公式パンフレットにて「神奈川フィルwith三橋貴風」を宣伝しました。A5判/48頁(表1～4含)/オールカラー、全国のCDショップ、音大、ヤマハ、ぴあ、ホールなどの施設に配架。配布部数5万部。
6	8月29日	タウンニュース緑区版 掲載	地域情報誌である同媒体の「人物風土記」欄で藤井館長が紹介され、開館にむけた意気込みを語りました。毎週木曜日に三大紙(朝日・読売・毎日)朝刊折込により緑区一帯に各戸配布。発行部数4万5千部。
7	9月～11月	JR東日本「小さな旅 横浜線 秋号」掲載	横浜線沿線の魅力を紹介する同媒体に、みどりアートパークの開館と長津田ジャズまつり等オープニングイベントの情報を掲載。関東首都圏JR線主要駅ステーションボードに配架。発行部数10万部。

8	9月2日	緑区プレスリリース(市政記者会等に資料配付)	施設内覧会・開館記念式典への報道者招待
9	9月7日	サンケイリビング 田園都市版 掲載	みどりアートパークの施設情報と開館日を紹介。併せてweb版にも掲載して頂き、みどりアートパークの施設を広く周知いたしました。横浜市緑区、旭区、青葉区、都筑区、川崎市宮前区、町田市、大和市に配布。発行部数149,523部。
10	9月25日～ 10月2日	イツコム情報番組	月曜日から木曜日まで毎日日替わりで東急沿線地域の話をつたえる「地元TVおかえり！」コーナーにて避難訓練コンサートを取り上げて頂きました。iTSCOM TV 接続世帯数 746,101。
11	10月1日	わかば通信 24号掲載	新施設オープン特集としてみどりアートパークを取り上げて頂き、みんなの掲示板欄に「みんなdeパフォーマンス」を告知いたしました。神奈川県横浜市の旭区若葉台、緑区霧が丘、長津田、青葉区青葉台方面に、月1回、約1万1千部無料配布のフリーペーパー。
12	10月5日	TVKニュース	開館日の夕方のニュースで、みどりアートパークの開館日の様子が神奈川県全域に放映されました。
13	10月10日	タウンニュース緑区版 掲載	新施設オープン特集としてみどりアートパークを取り上げて頂き、みどりアートパークの施設を広く周知いたしました。毎週木曜日に三大紙(朝日・読売・毎日)朝刊折込により緑区一帯に各戸配布。発行部数4万5百部。
14	10月12日	FMサルス 「AOBA CONNECTION +」	みどりアートパーク開館を取り上げて頂き、「ダ・カーポコンサート」を生出演にて告知いたしました。横浜市青葉区のコミュニティFM。
15	11月20日	Yokohama ArtNavi	みどりアートパーク開館を取り上げて頂き、「みどりの森のクリスマス」を告知しました。公益財団法人横浜市芸術文化振興財団発行年3回 A4サイズ/カラー(冊子8ページ)。横浜市内 区役所、図書館、文化施設、公会堂ほか

16	12月15日	長津田新聞 31号	長津田自治会連合発行の会報にて「おしゃべりジャズ倶楽部」を宣伝しました。
17	12月26日～27日	サンケイリビング横浜東、横浜西 年末年始号	「森の観測」のイベント情報を掲載。横浜市緑区、旭区、青葉区、都筑区、川崎市宮前区、町田市、大和市に配布。発行部数149,523部
18	1月1日	広報よこはまみどり区版 1月号	「日本語と英語で歌う童謡コンサート」、「おしゃべりジャズ倶楽部」イベント情報掲載
19	1月14日	LIVING田園都市web	街のイベント・レジャー欄にて「森の観測」のイベント情報を掲載。主婦のクチコミ誘発メディア「リビング新聞」連携サイトの田園都市版。月間約5,000,000PV
20	1月15日	神奈川新聞	朝刊イベント欄にて「森の観測」のイベント情報を掲載。発行数21万2,252部。
21	1月20日	LIVING田園都市web	街のイベント・レジャー欄にて「おしゃべりジャズ倶楽部」のイベント情報を掲載。主婦のクチコミ誘発メディア「リビング新聞」連携サイトの田園都市版。月間約5,000,000PV
22	2月1日	広報よこはまみどり区版 2月号	「環境絵日記展」「第二回みどりアートパーク寄席」イベント情報掲載
23	2月15日	長津田新聞 32号	長津田自治会連合発行の会報にて「みどりアートパーク寄席2」を宣伝しました。

24	3月1日	広報よこはまみどり区版 3月号	「アフタヌーンコンサート」イベント情報掲載
1	7月15日	みんなdeパフォーマンス チラシ A4 1,000部 ポスター4部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター、横浜市内区民文化センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
2	7月26日	オープニングシリーズ パンフ A3 二つ折り 5,000部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター・横浜市内区民文化センター、各マスコミ。以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
3	10月1日	みどりアートパーク寄席 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター、横浜市内区民文化センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
4	10月5日	まっぷマップ 10月号 A3二つ折り 2,000部	〃
5	10月17日	ゲゲゲの鬼太郎 決戦！竜宮島 チラシ A4 6,500部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター、横浜市内区民文化センター、緑区内幼稚園以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
6	11月1日	まっぷマップ 11月号 A3二つ折り 2,000部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター、横浜市内区民文化センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
7	11月1日	タ・カーポ コンサート チラシ A4 3,000部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。

チラシ

8	11月8日	チリンとドロン チラシ B5 500部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
9	11月15日	街道ものがたり 大山街道 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	〃
10	11月15日	ロバの音楽座 みどりの森のクリスマス チラシ A4 3,000部 ポ スター3部	〃
11	11月19日	ゴスペルワークショップ受講者募集 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	〃
12	12月1日	まっぷマップ 12月号 A3二つ折り 2,000部	〃
13	12月7日	森の観測 チラシ A4 2,000部 ポ スター1,000部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター、アマノスタジオ、横浜港大さん橋国際客船ターミナル以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました
14	12月16日	身体で聴こう音楽会 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニティハウス・駅構内PRボックス・行政サービスコーナー・緑図書館・緑スポーツセンター・「いっぽ」・山下地区交流センター以上各施設に配布。周知方依頼をして参りました。
15	12月27日	おしゃべりジャズ倶楽部 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	〃
16	1月4日	まっぷマップ 1月号 A3二つ折り 2,000部	〃

17	1月18日	街道ものがたり2・3 チラシ A4 500部 ポスター3部	〃
18	1月19日	おしゃべりジャズ倶楽部 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	〃
19	2月1日	まっぷマップ 2月号 A3二つ折り 2,000部	〃
20	2月3日	みどりアートパーク寄席2 チラシ A4 3,000部 ポスター3部	〃
21	2月6日	ゴスペル発表会 チラシ A4 2500部 ポスター3部	〃
22	2月13日	練習室 チラシ A4 2,000部 ポス ター1部	〃
23	2月14日	「舞台を作ろう！」 A4チラシ	緑区中学校校長会にてチラシ(各30枚)を配 布。その他鴨居、霧が丘。田奈、十日市場、中 山、東鴨居、青葉台、あかね台、あざみ野、奈 良、みたけ台、緑が浜、山内、谷本、荏田南、 茅ヶ崎、中川西、東山田各中学校にチラシを配 布。
24	3月1日	まっぷマップ 3月号 A3二つ折り 2,000部	館内・各地区センター・ケアプラザ・コミュニ ティハウス・駅構内PRボックス・行政サービ スコーナー・緑図書館・緑スポーツセン ター・「いっぽ」・山下地区交流センター、横 浜市内区民文化センター以上各施設に配 布。周知方依頼をして参りました。

平成25年度備品一覧

No	品名	形状・その他	単価(円) 【税込】	購入		廃棄		増減
				数量	年月日	数量	年月日	
1	テラステーション	TS-X2.0TL/R5	77,700	1	2014/1/14			
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								

(注)当該年度予算で購入した備品、または廃棄した備品を記入してください。

平成25年度修繕一覽

No	修繕年月日	修 繕 箇 所	契約金額 (円:税込)	業 者 名
	25. 11. 26	授乳室鍵交換	¥ 46,305	丸義工業
合計			46,305	

平成25年度 緑区民文化センター管理計画・実績表

項目	業務	内容	再委託会社	年回数	実施月	平成25年												平成26年		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・機械設備	設備総合巡視点検		清光社	12	毎月							28日	25日	25日	28日	24日	25日			
	電気設備点検	自家用電気工作物 保安管理	関東電気保安協会	12	毎月							17日	14日	12日	16日	25日	24日			
	自家用発電機設備点検		東洋産業	2	6・12月									3日						
	中央監視装置点検		東テク	1	6月															
	空調機自動制御点検		東テク	2	6・12月									3・4日						
	空調設備点検		住機	2	6・12月									3・4日						
	熱源機器等点検		テクノ矢崎	2	6・11月								22日							
衛生管理	空気環境測定 (VOC13種類測定)		清光社 (システムコーポレーション)	6	偶数月							21日		18日	(28日)	19日	(23日)			
	害虫駆除		ブラザー工業	2	2月 25年度に限り2月のみ											25日				
	汚水槽清掃		協同清美	2	7・12月									3日						
	湧水槽清掃		協同清美	2	7・12月									3日						
	レジオネラ菌分析	水質検査	アムコン	1	8月															
建物等	昇降機点検(乗用)	6・9・12・3月は点検 他はリモート点検	三菱電機ビルテクノサービス	12	毎月							18日	18日	9日	6日	18日	24日			
	昇降機点検(荷物用)		守谷輸送機工業	12	毎月							10日	6日	6日	10日	3日	7日			
	自動ドア点検		神奈川ナブコ	4	6・9・12・3月									17日			13日			
	電話交換機点検		三和通信	12	毎月							23日	19日	16日	22日	20日	12日			
	監視カメラ点検		通信設備エンジニアリング	1	12月									3日						
	舞台音響映像設備保守点検		システムエンジニアリング	2	9・1月										20・21日					
	音響測定		システムエンジニアリング	2	9・1月										21日					
	舞台吊物機構設備保守点検		橋田舞台設備	3	9・12・3月									16日			10日			

	ホール舞台照明設備保守点検		東芝エレクトリックエンジニアリング	2	7・11月							18日・19日					
	ホール座席保守点検		コトブキシーティング	1	12月								16日				
	ピアノ保守管理		ヤマハ	2	9・2月										3・4日		
	ピアノ調律		ヤマハ	2	9・2月										3・4・27・28日		
	シャッター点検		三和シャッター	2	7・12月								3日				
清掃等	床日常清掃		清光社	毎日	毎月							毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	床定期清掃		清光社	毎日	毎月							10・26日	7・23日	11・28日	11・28日	6・21日	6・20日
	カーペット定期清掃		清光社	1	9月												
	ガラス定期清掃		清光社	3	7・11・3月								29日				26日
	照明器具定期清掃		清光社	1	9月												
保安警備	機械警備業務		総合警備保障	毎日	毎月							毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
防災等	防火対象物定期点検	管理組合にて実施		1	2月											24日	
	消防設備点検	管理組合にて実施		1	10月								14日				
	消火水槽清掃	3年に1回(H27年度予定)															

※ 必要に応じて、行を追加していただいて構いません。

平成25年度委託内容一覧(ホール・舞台関係)

No	委託期間	委託内容	契約金額 (円:税込)	業者名
	25.10.01.~ 26.03.31	事業担当・舞台技術業務	¥ 12,074,994	上條制作室
	25.10.01.~ 26.03.31	広報担当職員	¥ 3,000,000	相鉄エージェンシー
	25.10.04	ピアノ調律	¥ 22,050	ヤマハミュージックリテイリング
	25.10.07	ピアノ移動設置業務	¥ 48,300	池田ピアノ運送
	26.02.27~28	練習室3・リハーサル室 ピアノ調律整音 整調	¥ 63,000	清光社
合計			¥ 15,208,344	

平成25年度委託内容一覧(電気・機械等)

No	委託期間	委託内容	契約金額 (円:税込)	業者名
	25.10.01.~ 26.03.31	施設管理維持業務	¥ 11,244,450	清光社
	25.10.01.~ 26.03.31	レンタルマット	¥ 17,448	サニクリーン
	25.10.01~ 26.03.31	臨時日常清掃業務	¥ 18,648	清光社
	25.10.01~ 26.03.32	機械警備業務	¥ 189,000	総合警備保障
	25.10.31	臨時ゴミ回収業務	¥ 26,250	清光社
	26.01.28	VOC13種類測定	¥ 210,000	システムコーポレーション
	26.02.25	害虫駆除業務	¥ 78,750	清光社
	26.03.23	VOC13種類測定	¥ 203,700	清光社
合計			¥ 11,988,246	

職員等に対する研修の実施状況

緑区民文化センター

No	実施月日	研修名	研修内容（概略）	参加者数及びその内訳
1	12月20日から23日	相鉄グループCSR研修	セクハラ・パワハラ等業務指導を起因とする事例研修動画を閲覧	職員7名
	12月21日から24日	Pマーク取得に向けた個人情報保護研修	相鉄企業がPマークを取得するに当たり、その環境整備のための事前研修	職員7名及び受付8名
	以下余白	以下余白	以下余白	以下余白

職員等に対する研修の実施状況

緑区民文化センター

No	実施月日	研修名	研修内容（概略）	参加者数及びその内訳
1	1月30日	清掃作業従事者教育	清掃従事者に対する、安全面、技能向上等を目的とする法定研修	清光社担当者6名
	以下余白	以下余白	以下余白	以下余白

職員等に対する研修の実施状況

緑区民文化センター

No	実施月日	研修名	研修内容（概略）	参加者数及びその内訳
1	2月10日から28日	感染症対策	インフルエンザ予防を目的とした厚生労働省の研修動画を閲覧	2月10日3名、11日2名、13日3名計8名
	以下余白	以下余白	以下余白	以下余白

職員等に対する研修の実施状況

緑区民文化センター

No	実施月日	研修名	研修内容（概略）	参加者数及びその内訳
1	3月21日	アートマネジメント研修	「理想の区民文化センターを考える」をテーマにトークセッションを実施した。	3月21日 計4名
2	3月31日	財務研修	会社の財務処理の流れおよび経理の取扱いに関する研修を実施した。	3月31日 計1名
	以下余白	以下余白	以下余白	以下余白

平成25年度 光熱水費内訳

施設名 緑区民文化センター

項目	電 気		ガ ス		水 道		月 計
	料金(円)	使用量(kwh)	料金(円)	使用量(m ³)	料金(円)	使用量(m ³)	料金(円)
4月	608,873	23,341	531	0			609,404
5月	397,248	9,577	20,501	139	21,201	60	438,950
6月	409,955	9,845	21,586	0			431,541
7月	479,156	12,961	120,638	1,107	36,355	91	636,149
8月	870,461	31,423	322,013	3,518			1,192,474
9月	902,466	32,942	287,278	3,058	212,073	377	1,401,817
10月	923,570	33,115	269,873	2,842			1,193,443
11月	1,153,030	48,380	170,299	1,693	193,874	349	1,517,203
12月	741,363	25,313	54,892	377			796,255
1月	743,645	25,263	288,633	2,264	80,656	172	1,112,934
2月	802,008	28,481	291,035	2,279			1,093,043
3月	815,659	28,769	184,281	1,379	111,330	222	1,111,270
合 計	8,847,434	309,410	2,031,560	18,656	655,489	1,271	11,534,483

平成25年度緑区民文化センター自己評価

点検項目	内容	自己評価
文化事業	自主事業実施状況	「周知」をテーマに自主事業を開催し、開館記念として多くの人に区民文化センターを体感して頂く事業を実施した。
	広報と各種情報の提供・相談	広報誌やHP等の全体広報だけでなく、事業毎にターゲットの絞った広報を行えた。しかし開館初年度は広報が後手に回ることもあり、スケジュールの見直しによる改善を図っている。
施設の運営	運営体制	適正。
	設備や貸出機材について	利用者満足度74%。やや高い満足度であったがピアノの調律についてご意見があったため早急に手配をした。
	受付窓口の対応	利用者満足度84%。高い満足度であり、引き続き水準の高い対応を行う。
	スタッフの対応	利用者満足度85%。高い満足度であり、引き続き水準の高い対応を行う。
	施設の全体的な満足度	利用者満足度80%。高い満足度であり、引き続き水準の高い対応を行う。
施設の管理	建築設備の日常運転業務	適正。
	建築物保守管理業務	適正。
	建築設備機器管理業務	適正。
	日常点検業務	適正。
	舞台設備等の保守管理	適正。
	修繕業務	適正。
	清掃業務	適正。
	保安警備業務	適正。
	防災等	適正。
	環境衛生管理業務	適正。